

3 3 群土器 (図28~47, 表10, 写真13~15)

本報告においては、慶應義塾大学民族学考古学研究室・上黒岩遺跡考古館・愛媛県歴史文化博物館の西田栄資料・竹口渉氏の保管資料より3群土器(押型文)を抽出し、これらを層位ごとに掲載している。総点数は290点であり、各所蔵先については、表10に記載している。

本様式は、器面に押型文様を施す土器群である。器形は口縁部が外反もしくは外傾し、胴部が膨らんでいる。口縁部が外反するものには柵状文と1~2段の押型文を施しているものが多く、外傾するものには柵状文は無く、押型文のみが認められるものが多い。底部は尖底を呈し、平底となるものはみられない。文様は、主に山形文・楕円文・格子目文・綾杉文の4種類の文様があり、このなかでは山形文と楕円文との占める割合が圧倒的に多い。

2層出土遺物 (図28-1)

2層からは1点の押型文土器が出土している。1は波状口縁を呈する土器と考えられる。文様は、外面が外反する口縁部上端よりやや下がった位置から大型楕円文を斜位に施すものである。内面には右斜行の沈線が、間隔を密に二段で引かれている。

3層出土遺物 (図28-2・3)

第3層からは2点の押型文土器が出土している。2は口縁部であり、文様は楕円文を横位に施文しており、口縁部上端と胴部付近には無文帯を有する。内面には左斜行の柵状文が施され、その下位に横位の楕円文が施文される。3は胴部片であり、斜位の楕円文を施している。

4層(上部)出土遺物 (図28-4~6)

第4層上部からは3点の押型文土器が出土している。いずれも胴部片であり、文様は、4は横位の山形文、5は横位の楕円文で無文帯を有し、6は斜位の楕円文が施文されている。

4層(下部)出土遺物 (図28-7~図31-45)

4層下部からは39点の押型文土器が出土しており、その内訳は山形文12点、楕円文18点、山形文と楕円文を併用した押型文5点、格子目文4点である。

7~18は山形文を施すものである。7は口縁部が外反し、内外面に横位の山形文が施されるが、外面は部分的にナデ消されている箇所がみられる。8は口縁部が外反し、内外面に横位の山形文を施文し、内面には柵状文が施されている。9は口縁部が外傾し、内外面の口縁部直下から山形文が施文されている。10~12は内面に押型文を施文していることから口縁部下位の部位である。12は山形文帯の間隔は、幅0.6cmの狭い無文帯を有する。13~18は胴部片であり、13の内面には縦方向に3条の擦痕が認められる。17は無文帯を有し、帯状施文を呈する。

19~36は楕円文を施すものである。19は内面にも押型文を施文していることから口縁部下位の破片である。外面は縦位と横位の2方向から楕円文を施し、内面には横位の楕円文を施す。20~32は胴部片である。20・25・26には無文帯を有する。33~36は遺物の状態から底部に近い部位と考えられる。

37~40は格子目文を横位に施すものである。37は口縁部がほぼ直行するもので、口唇部は狭い平坦面を有する。外面は口縁部直下から横位の格子目文を施文し、内面には左斜行の刻目を施し、その下位に一段の格子目文を施している。38~40は胴部片である。

41～45は山形文と楕円文を併用して横位に施すものであり、各文様間に無文帯を有しており、帯状施文となっている。41は口縁部がやや外反する。外面は口縁部直下から横位の山形文を施し、無文帯を挟んで横位の楕円文を施文しており、それぞれ一段ずつである。内面には口縁部直下に横位の山形文を一段施している。42は内面に押型文を施文していることから口縁部下位の部位である。外面は無文帯を挟んで横位の山形文と楕円文を施し、内面には山形文を施す。43～45は胴部片である。44は残存状態から、無文帯に挟まれた楕円文を単独でしか確認できないが、胎土や文様の形態などから同一型式の範疇と考えたい。45は無文帯を挟んで山形文と楕円文を一段ずつ施文している。押型文様から原体を復元すると、山形文と楕円文ともに長さ2.4cmを測る。各文様については山形文が3条、楕円文が4条となる。

4層出土遺物 (図31-46～図36-126)

4層出土のもので上部と下部の出土情報が明確でない押型文土器である。81点の押型文土器が出土しており、その内訳は山形文19点、楕円文46点、山形文と楕円文を併用した押型文10点、格子目文4点、綾杉文2点である。

46～64は山形文を施すものである。46は口縁部が外傾し、口唇部は先細り気味である。文様は、口縁部上端よりやや下がった位置から横位の山形文を施す。内面には口縁部直下に横位の山形文を一段施している。47・60は内面に押型文を施文していることから口縁部下位の部位である。47は内外面に横位の山形文を施しており、外面には無文帯を有する。60は間のびした緩やかな山形文を、外面が縦位で、内面を横位で施文している。48～64は胴部片である。49・55・56は横位の山形文が施文されており、部分的にナデ消されている箇所がある。59は間のびした山形文を横位に施す。64は横位の山形文を施すが、胴部下半は斜位となっており、口縁部側より文様を施したと考えられる。

65～110は楕円文を施すものである。65は口縁部が外反し、口唇部は丸みを帯びる。文様は、外面の口縁部直下を無文帯にして斜位の楕円文を施し、内面には横位の楕円文が施文され、その上から長さ約3cmの柵状文が施されている。69は口縁部が外反し、口縁部上端より下がった位置から縦位ないし斜位の楕円文を施す。内面には柵状文が施され、その下位に横位の楕円文が施文される。口縁部には補修孔があり、両面からの円穿孔である。70は口縁部が外傾し、口唇部は先細りを呈する。文様は、内外面に横位の楕円文を施文し、内面には刻みを施している。66～68は内面に柵状文が認められることから口縁部付近の部位である。66は口縁部が外反し、文様は外面に斜位の楕円文を施し、内面には左斜行の柵状文が施され、その下位に横位の楕円文が施文される。67・68は外面に斜位の楕円文を施し、内面には右斜行の柵状文が施されている。71～75は内面に押型文が認められることから口縁部下位の部位である。71は外面に斜位の楕円文を施す。内面には横位の楕円文を施文し、その下位には擦痕が残されている。76～110は胴部片であり、縦位ないし斜位の方向で押型文が施文されている。79は器厚が厚手のものであり、外面には縦位の大型楕円文が施文されている。94は横位の楕円文を施文しているが、広い範囲でナデ消されている箇所がみられる。110は遺物の状態から底部に近い部位と考えられる。

111～120は山形文と楕円文を併用して横位に施すものである。文様間に無文帯を有し、帯状施文を呈するものが多い。押型文様から原体を復元すると、山形文と楕円文ともに長さ2.2cmを測

る。1段内の文様は、山形文が3条、楕円文が4条である。111は口縁部が外傾し、口唇部は丸みを帯びる。口縁部直下より横位の山形文を施し、その下位に横位の楕円文を施文するが、無文帯はほとんど認められない。112は口縁部が外傾し、口唇部は先細り気味である。内外面に横位の山形文を施し、外面はその下位に幅狭の無文帯を有する。113～120は胴部片である。114は内面上端に山形文が認められることから口縁部下位の部位である。116～120は残存状態から楕円文単独でしか確認できないものもあるが、胎土や文様の形態などから同一型式の範疇として考えたい。

121～124は格子目文を横位に施すものである。121・122は口縁部が外傾し、口唇部は丸みを帯びる。文様は、口縁部上端よりやや下がった位置から横位の格子目文を施す。内面には横位の格子目文が施文され、その上から刻目が施されている。

125・126は綾杉文を横位に施すものである。いずれも胴部片であり、125には幅2.0cmの無文帯を有し、帯状施文を呈している。

4層（人骨周辺）出土遺物（図36-127～図42-211）

A区4層で検出された人骨周辺で出土した押型文土器である。85点の押型文土器が出土しており、その内訳は山形文22点、楕円文42点、山形文と楕円文を併用した押型文20点、格子目文1点である。

127～148は山形文を施すものである。127は口縁部がやや外反し、口唇部は平坦面を有する。文様は、口縁部上端よりやや下がった位置から横位の山形文を施し、最上部の山形文を1条残した状態で帯状にナデ消し、無文帯を作り出している。内面は横位の山形文を施し、刻目や柵状文は認められない。128は口縁部が外傾し、口唇部は丸みを帯びる。文様は口縁部上端より下がった位置から横位の山形文を施し、部分的にナデ消している。内面は横位の山形文を施文し、その上から刻目を施している。129～131は口縁部が外傾し、口唇部は丸みを帯びている。口縁部上端よりやや下がった位置から横位の山形文を施している。内面には刻目が施され、その下位には横位の山形文が施文される。132は内面に押型文を施文していることから口縁部下位の部位である。内外面に山形文を施文しているが、外面にはナデ消しによって無文部の箇所が認められる。133～148は胴部片であり、施文方向は横位を基本としたものである。141・142・143・148は部分的なナデ消しによる無文部の箇所が認められる。

149～190は楕円文を施すものである。149は口縁部が外反し、口唇部は丸みを帯びる。文様は斜位の楕円文を施している。内面は斜位の楕円文を施し、その上から柵状文が二段に施文されている。150は口縁部が外傾し、口縁部上端より下がった位置から横位の楕円文を施される。内面は左斜行の刻目が施され、その下位に横位の楕円文が施文される。151は口縁部が外反し、口唇部は平坦面を有する。文様は、口縁部上端より下がった位置から縦位ないし斜位の楕円文を施文する。内面は横位の楕円文を施し、その上から右斜行の柵状文を施している。152・153は内面に柵状文がみられることから口縁部付近の部位である。文様は、斜位ないし横位の楕円文を施文し、内面の柵状文の方向は、152が右斜行、153が左斜行を呈する。156～185は胴部片である。154・155・160は内面にも押型文が認められることから口縁部下位の部位である。文様は、縦位ないし斜位の不規則な施文方向の楕円文を施し、内面は横位の楕円文が施されている。156は内面に楕円文の原体を回転させることなく、押し付けた状態で文様を施している。158は横位の楕円文を施しているが、ナデ

消しによる無文部が認められる。167・176は無文帯を有し、帯状施文を呈する。187は口縁部が外反し、口唇部は広い平坦面を有する。器厚は厚手のものであり、文様は、口縁部上端より下がった位置から斜位の大型楕円文を施す。188は口唇部が丸みを帯び、大型楕円文を施文する。内面には沈線を施している。186・189は遺物の状態から底部付近の部位と考えられる。190は底部であり広角の尖底を呈する。外面は横位ないし斜位の不規則な施文方向の楕円文を施し、内面はナデ調整である。

191～210は山形文と楕円文を併用して横位に施すものである。文様間に無文帯を有し、帯状施文を呈するものと、無文帯のない密接に施文されたものに大別できる。前者が191～200、203～210、後者は201・202が該当する。押型文様にも違いがみてとれ、前者に比べて後者の山形文はやや鋭角であり、楕円文についても前者が円形に近い形状であるのに対して、後者は米粒状を呈する。無文帯を有する資料の押型文様から原体を復元すると、山形文と楕円文ともに長さ2.2cmを測る。文様は、山形文が3条、楕円文が4条である。191～194は同一個体の可能性が考えられる。口縁部は外傾し、口唇部はやや先細りを呈する。口縁部直下より横位の山形文を施し、その下位に横位の楕円文を施文する。文様間の無文帯は幅の狭いものである。内面は横位の山形文を1段施している。195～210は胴部片であり、なかには残存状態から山形文や楕円文が単独でしか確認できないものもあるが、胎土や文様の形態などから同一型式の範疇として考えたい。

211は格子目文を横位に施文するものである。確認できる範囲で、外面は2段、内面は1段の格子目押型文を施文している。さらに内面には、その上から左斜行の刻目を施している。

6層出土遺物 (図43-212)

6層からは1点の押型文土器が出土している。212は内面に押型文を施文していることから口縁部下位の部位である。内外面に横位の山形文が施文されている。

9-2層出土遺物 (図43-213)

9-2層からは1点の押型文土器が出土している。213は内面に押型文を施文していることから口縁部下位の部位である。内外面に横位の山形文が施文されている。

出土地不明・攪乱層の遺物 (図43-214～図47-290)

出土地不明もしくは攪乱層から出土した押型文土器である。77点の押型文土器を掲載しており、その内訳は山形文41点、楕円文28点、山形文と楕円文を併用した押型文4点、格子目文4点である。

214～254は山形文を施すものである。214～216は口縁部が外傾し、口唇部は丸みを帯びている。文様は、内外面に横位の山形文を施しているが、216の外面は無文である。いずれも刻目や柵状文は認められない。217・218は口縁部がやや外反し、文様は、内外面に横位の山形文を施し、内面にはその上から左斜行の刻目を施す。219～253は胴部片であり、横位を基本とした山形文を施文している。219～223については内面に押型文が認められることから口縁部下位の部位である。225・226・230・232・236・237は部分的なナデ消しによる無文部が認められる。252は間のびした山形文を横位に施す。253は間のびした山形文を縦位に施すものであり、穂谷式段階に位置づけられる。254は底部であり尖底を呈する。外面は斜位の山形文を施し、内面はナデ調整である。

255～281は楕円文を施すものである。255は波状口縁を呈する土器と考えられる。口縁部は外反し、口唇部は先細りを呈する。文様は、口縁部上端より下がった位置から横位ないし縦位の楕円文

を施している。内面は横位の楕円文を施文し、その上から長さ約3.4 cmの柵状文を施す。楕円文の下位は横方向のナデ調整が施される。口縁部には補修孔があり、両面からの円穿孔である。256・257は口縁部が外反し、口唇部は丸みを帯びる。文様は、口縁部上端よりやや下がった位置から横位の楕円文を施文する。内面は横位の楕円文を施し、その上から左斜行の柵状文を施している。258・259は口縁部が外傾し、内外面に横位の楕円文を施文している。内面には右斜行の刻目を施している。260～276は胴部片であるが、260～263については内面に押型文が認められることから口縁部下位の部位である。261は内外面に楕円文を施すが、楕円文の形状に違いがみられる。263は外面に楕円文、内面に山形文を施す。260・264・266には部分的なナデ消しによる無文部が確認できる。277～281は縦位ないし斜位の大型楕円文が施文されている。277は口縁部が外反し、口唇部は広い平坦面を有する。278は口縁部が外反し、器厚は1.0 cmを越える厚手のものである。外面には斜位の大型楕円文を施し、内面には斜行沈線が施されている。

282～285は横位の山形文と楕円文を併用して施文したものである。文様間に無文帯はなく密接に施文されている。282は口縁部が外反し、文様は、口縁部上端よりやや下がった位置から横位の山形文と楕円文を交互に施文している。山形文帯の幅が4.8 cmに対し、楕円文帯の幅は2.6 cmと狭い。内面には横位の山形文を施文し、その上から左斜行の刻目を施している。283～285は胴部片である。283は内面に山形文が認められることから口縁部下位の部位である。

286～289は横位の格子目文を施すものである。286は口縁部が外反し、口唇部は丸みを帯びる。文様は、外面が大きく剥落しており、わずかに横位の格子目文が確認できる。内面は横位の格子目文を1段施文し、その上から左斜行の刻目を施している。287～289は胴部片である。287は内面にも格子目文が認められることから口縁部下位の部位である。

290は口縁部が外反し、口唇部は丸みを帯びる。外面はナデ調整を施した無文であり、内面は口縁部直下より一段の楕円文を横位に施文している。

(兵頭 勲)

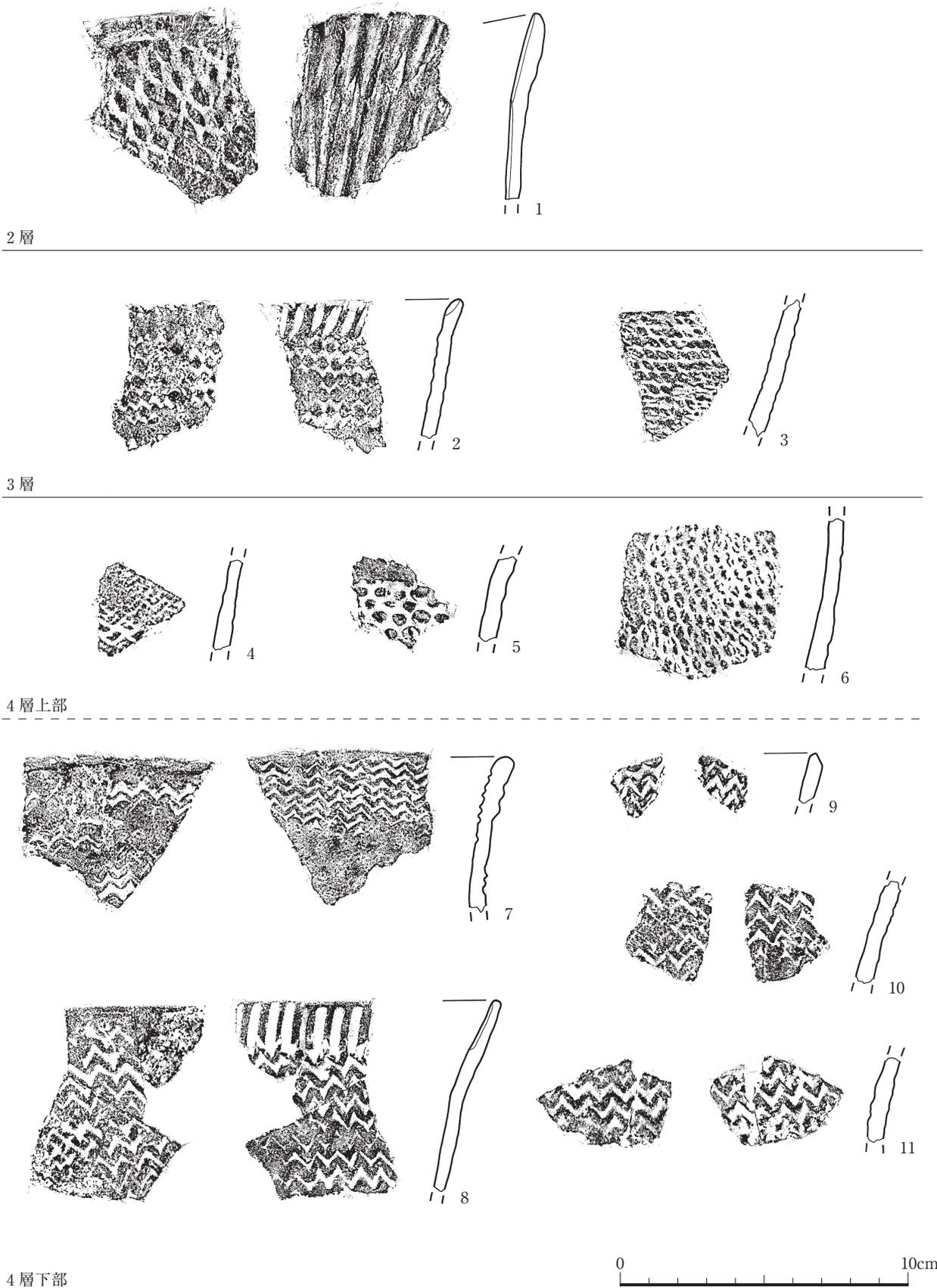
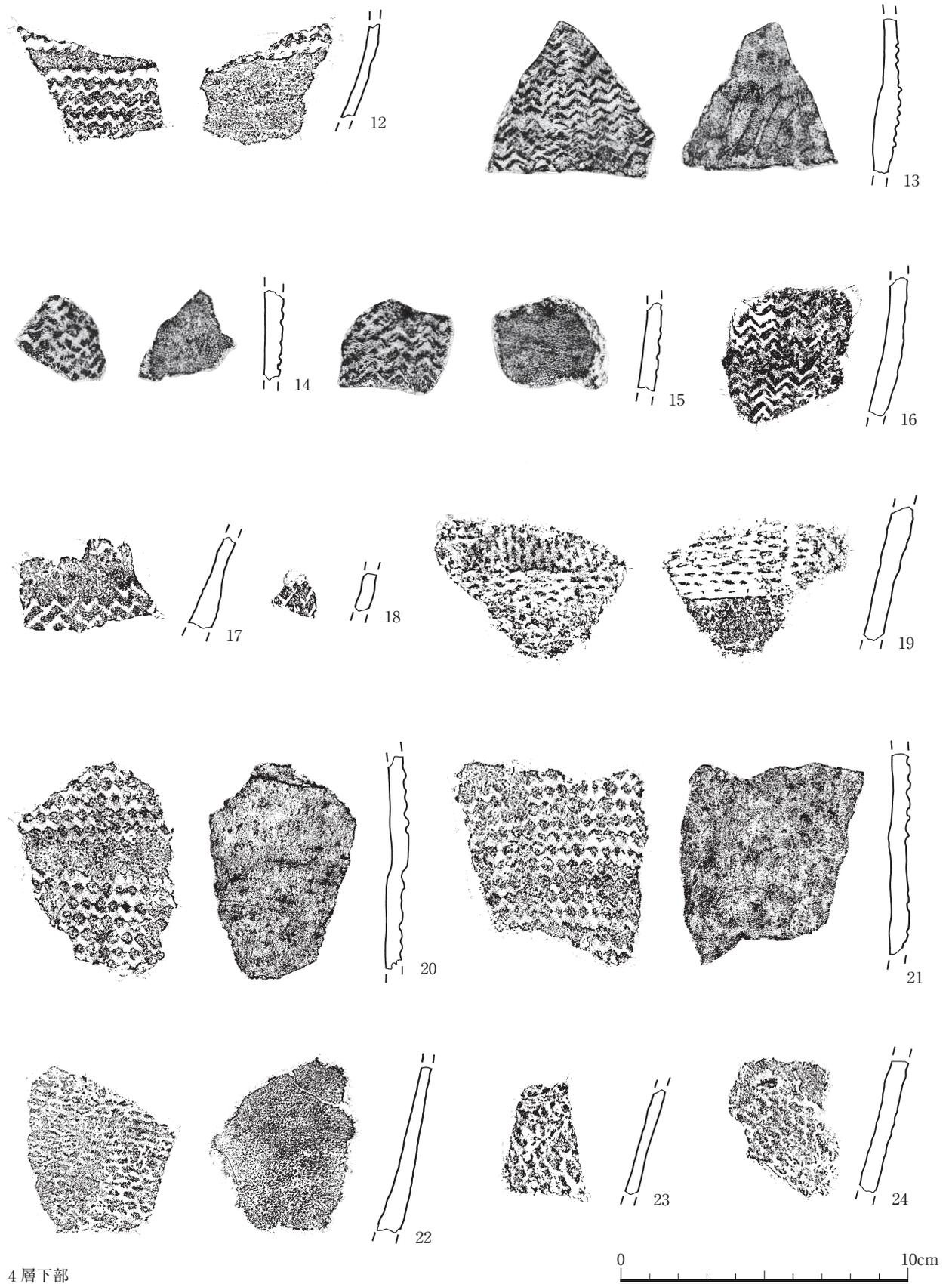
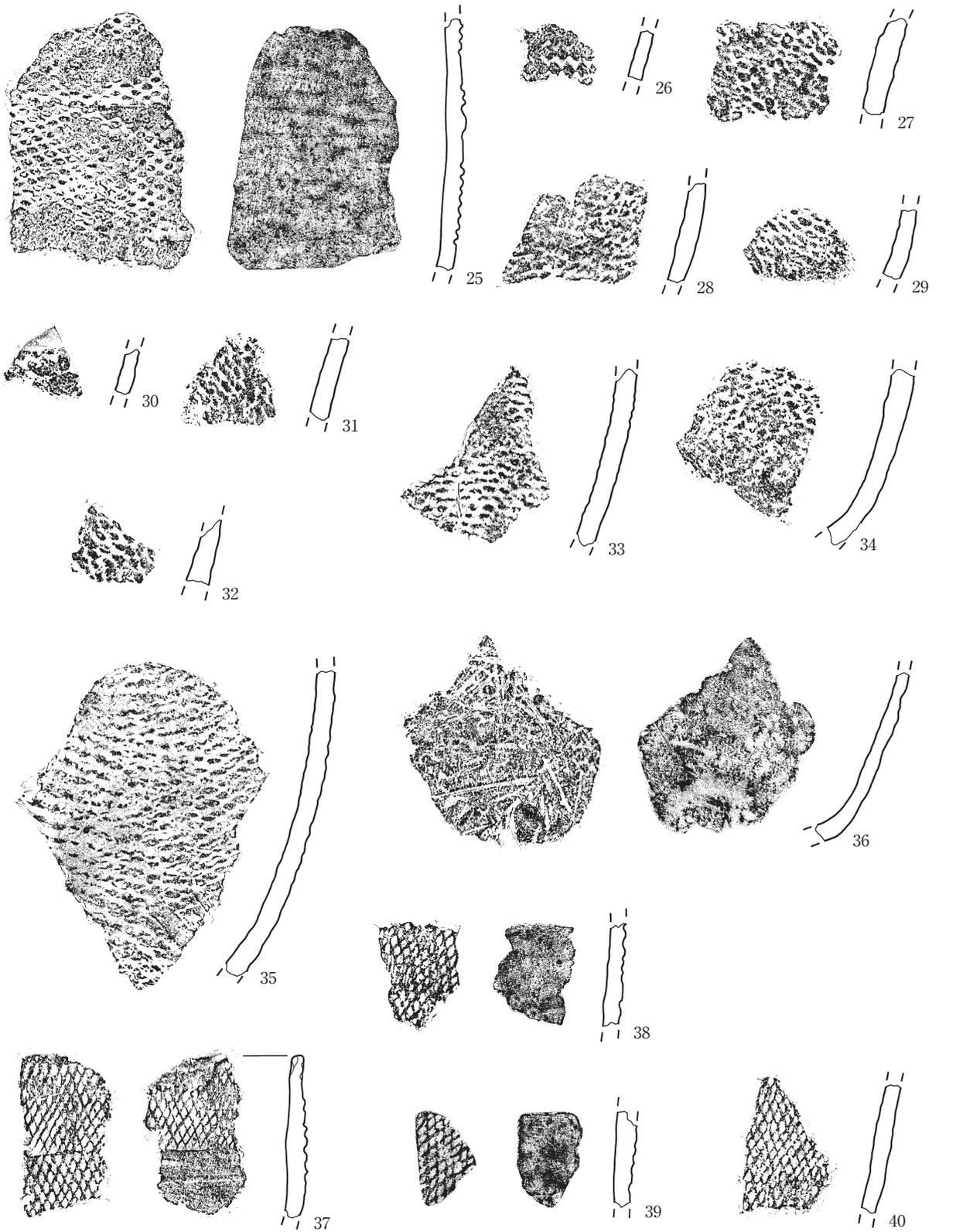


图28 3群土器 1 (S = 1/2)



4層下部

図29 3群土器 2 (S = 1/2)



4層下部

图30 3群土器 3 (S = 1/2)

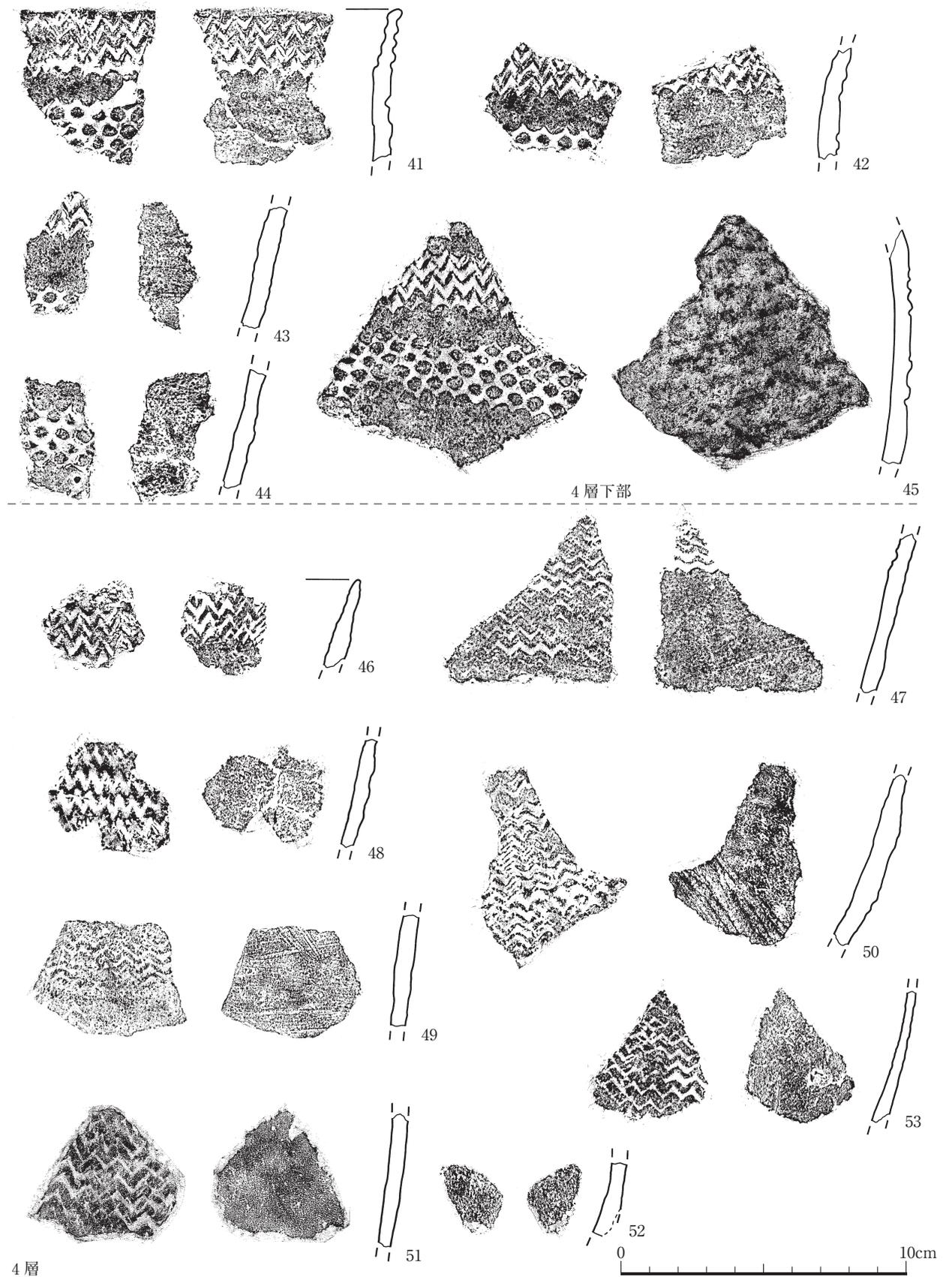
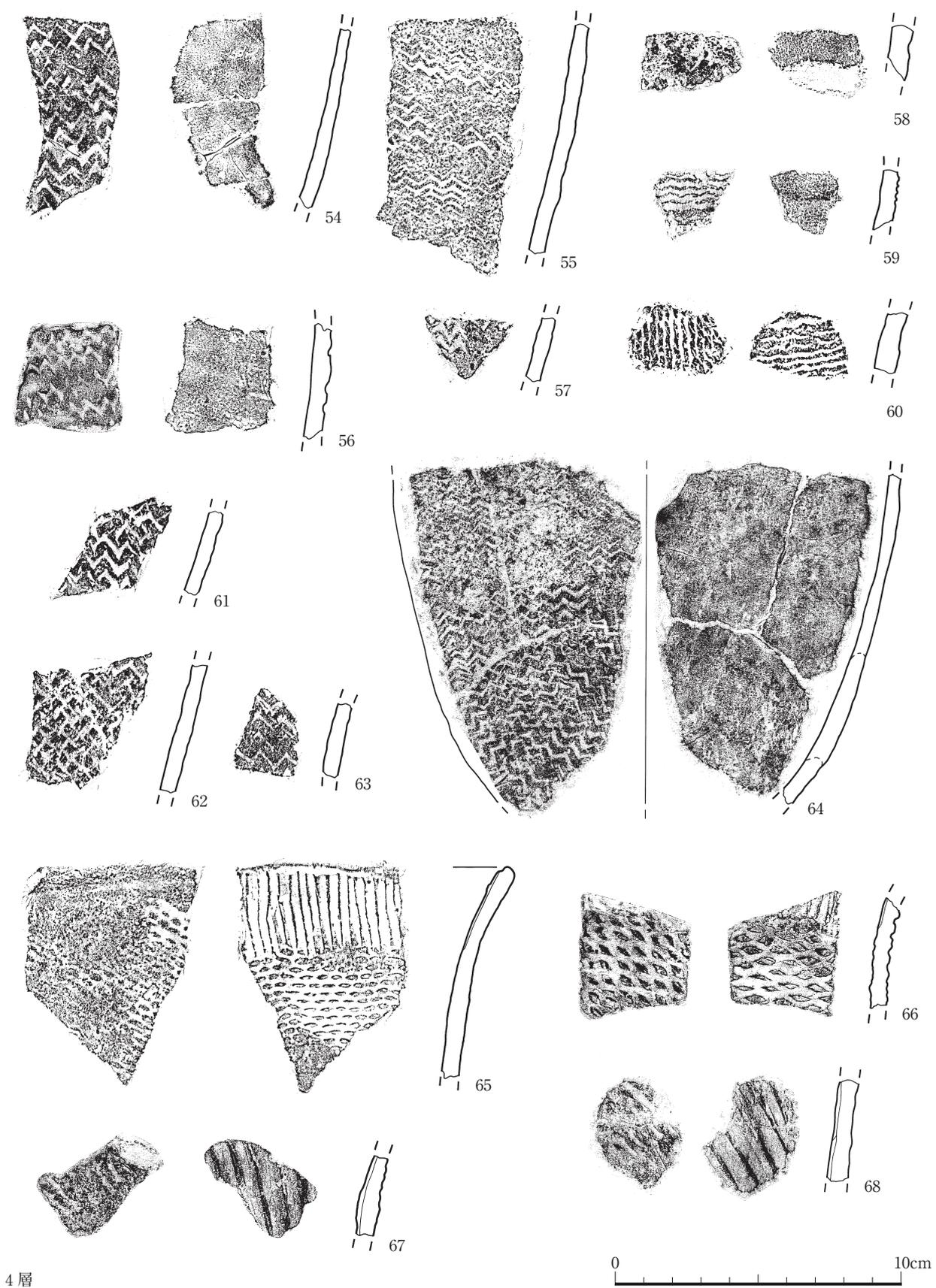


図31 3群土器 4 (S = 1/2)



4層

图32 3群土器 5 (S = 1/2)

4層

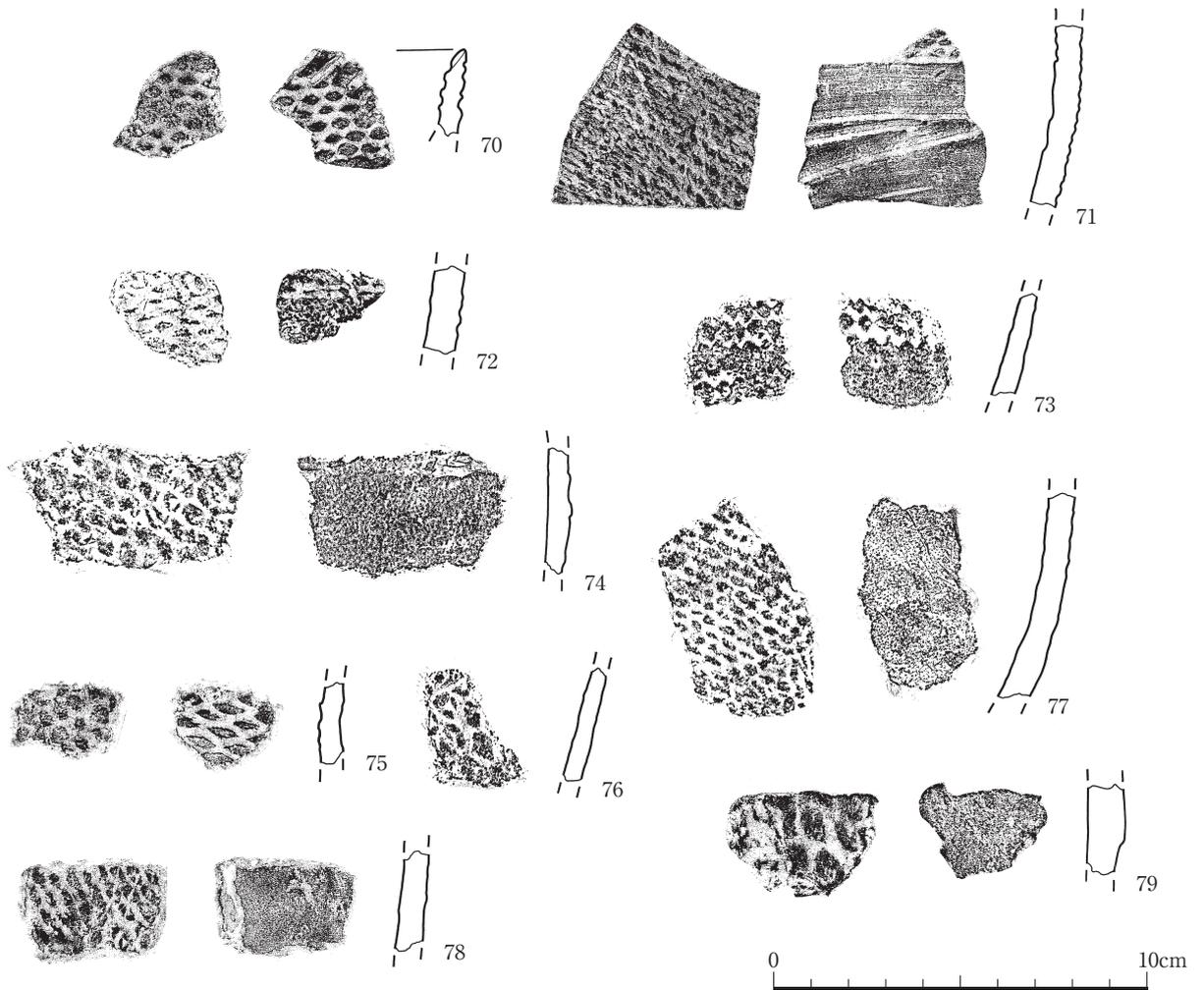
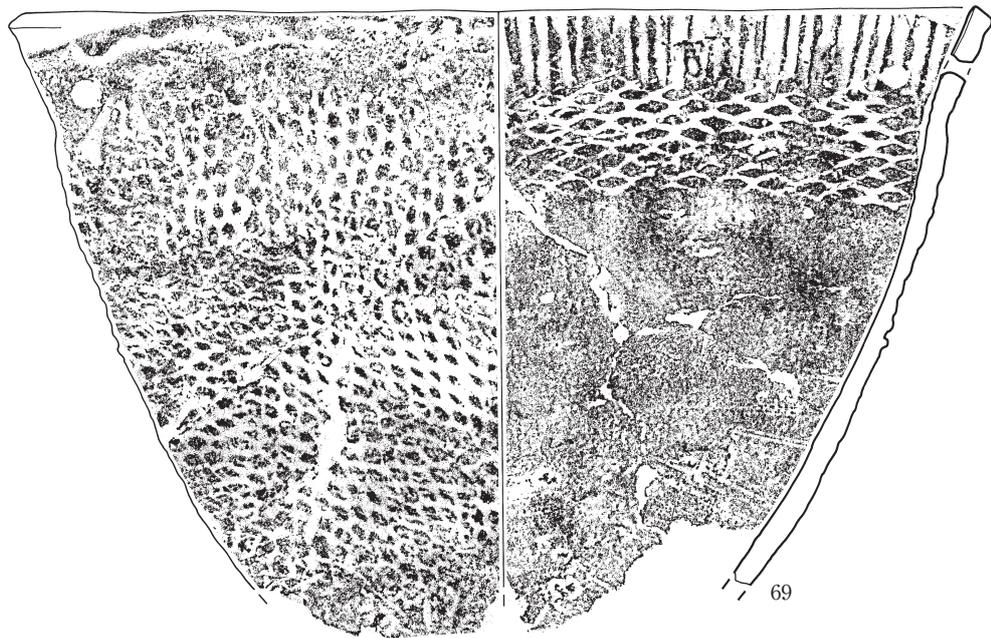


图33 3群土器6 (S = 1/2)

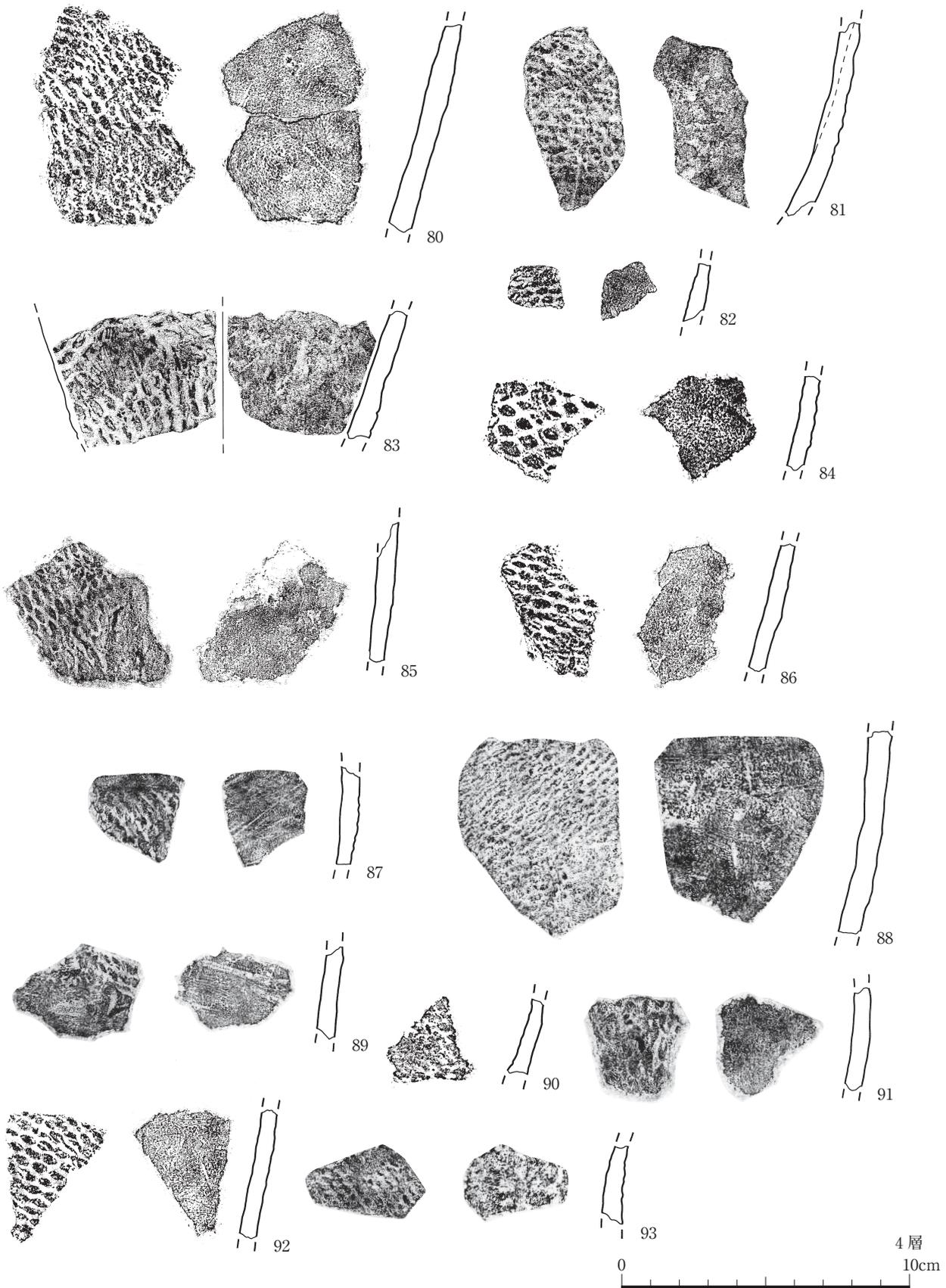
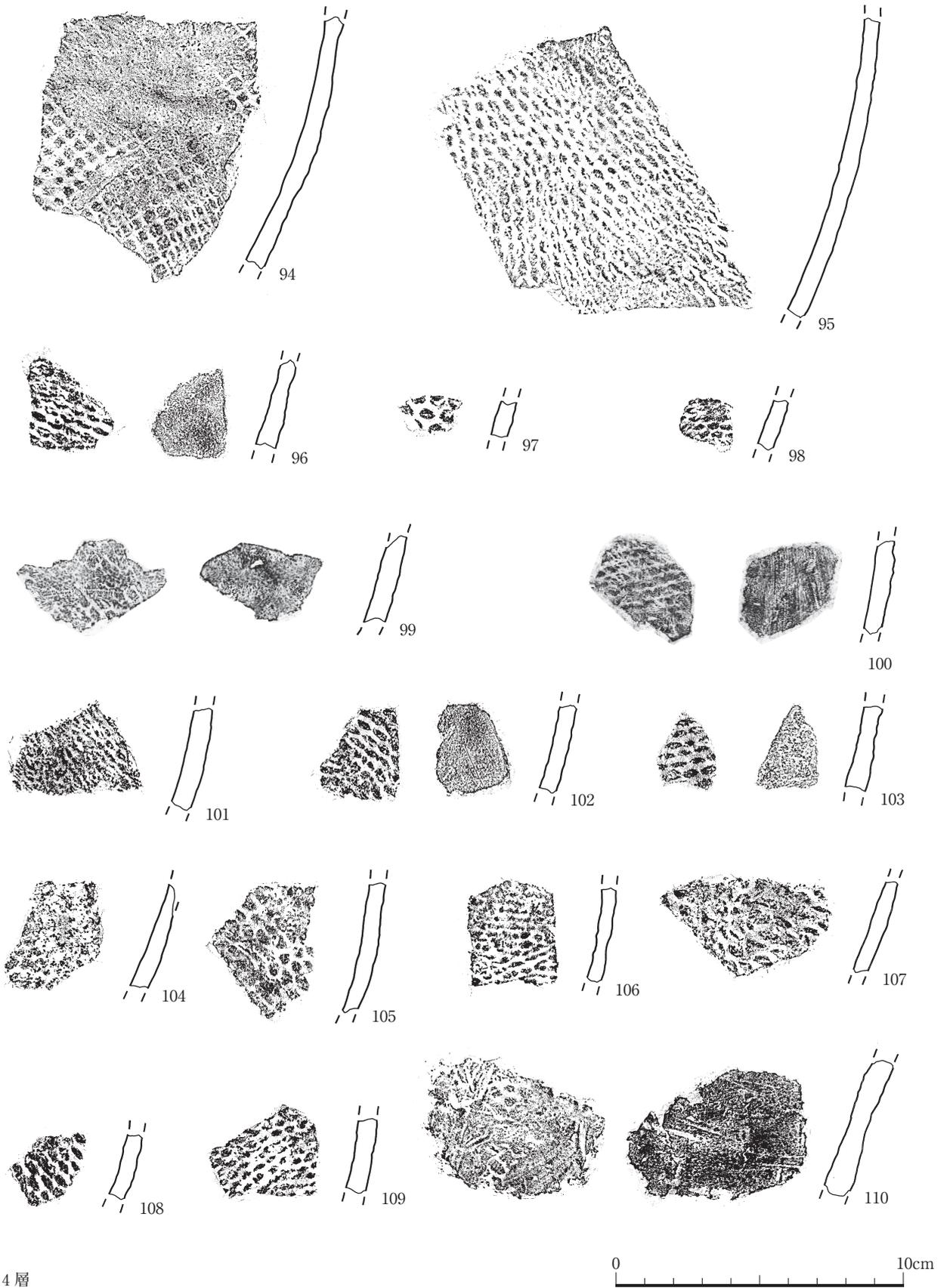
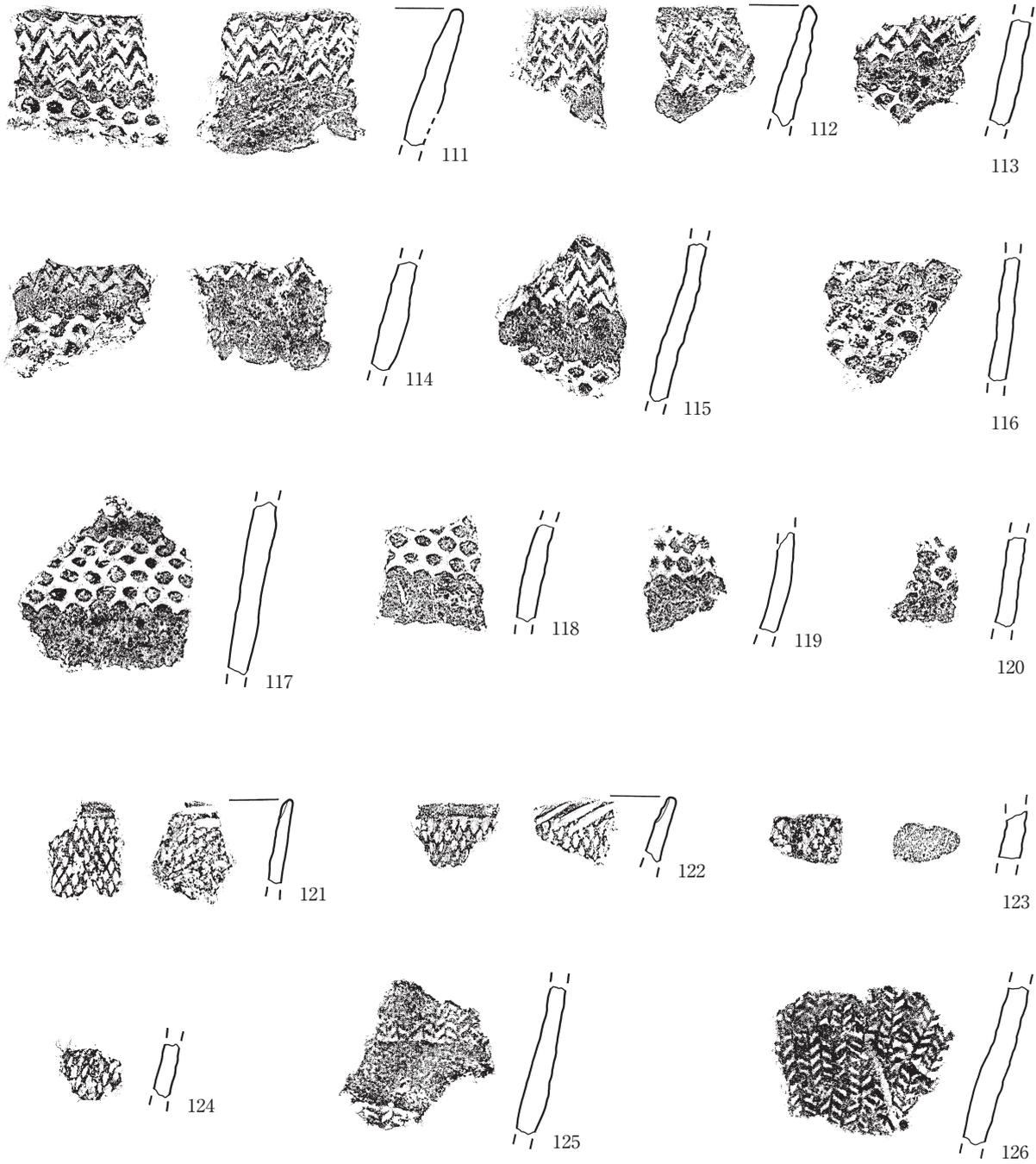


图34 3群土器 7 (S = 1/2)

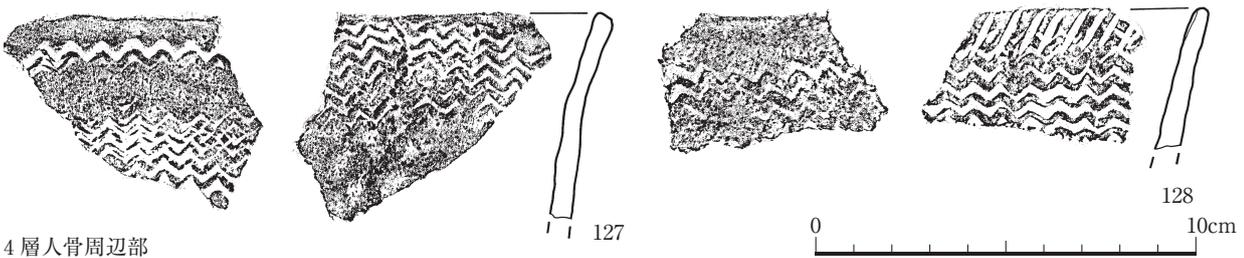


4 層

圖 35 3 群土器 8 (S = 1/2)

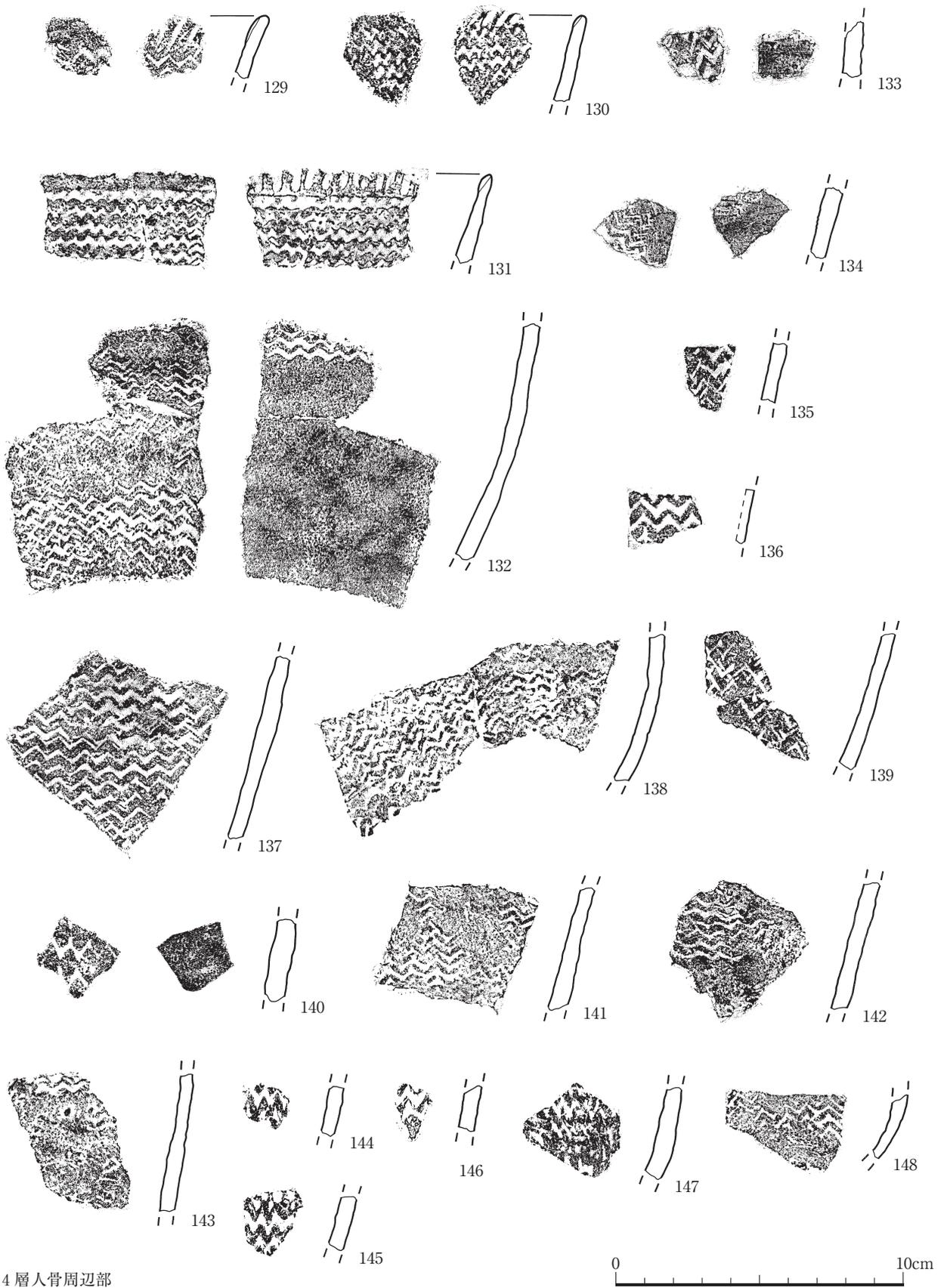


4層



4層人骨周辺部

图36 3群土器9 (S=1/2)



4 層人骨周辺部

圖 37 3 群土器 10 (S = 1/2)

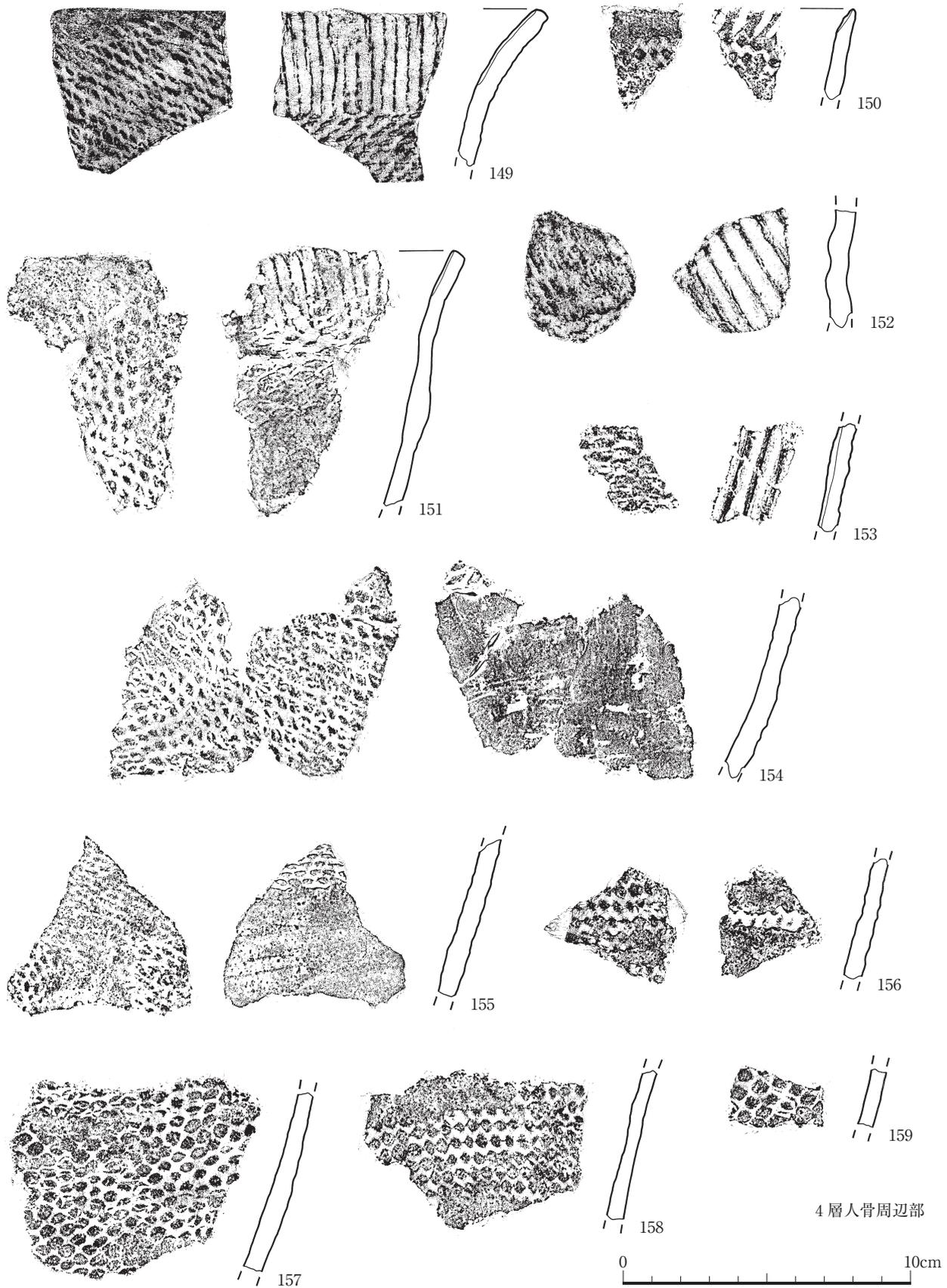


图38 3群土器 11 (S = 1/2)

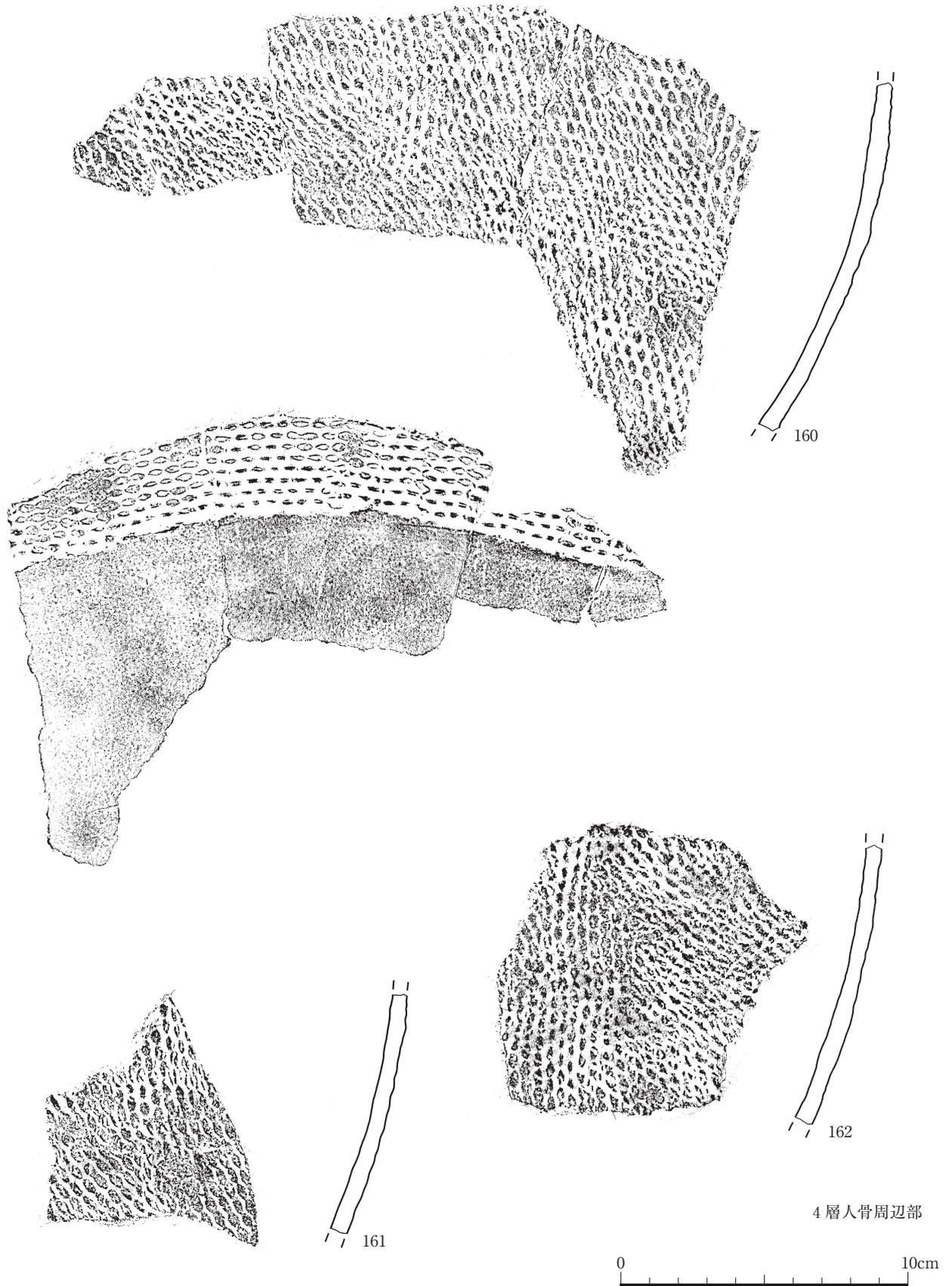


图39 3群土器 12 (S = 1/2)

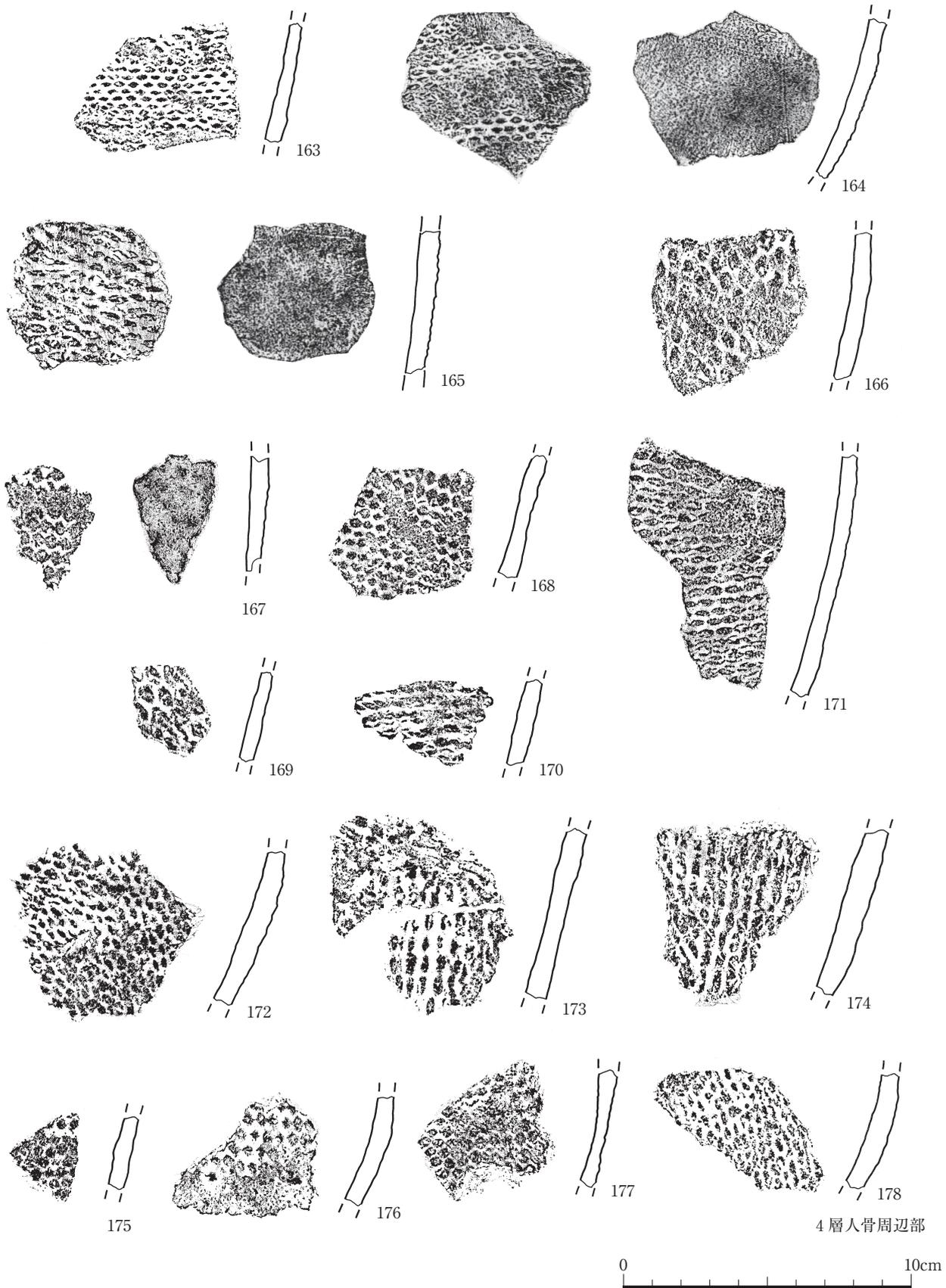
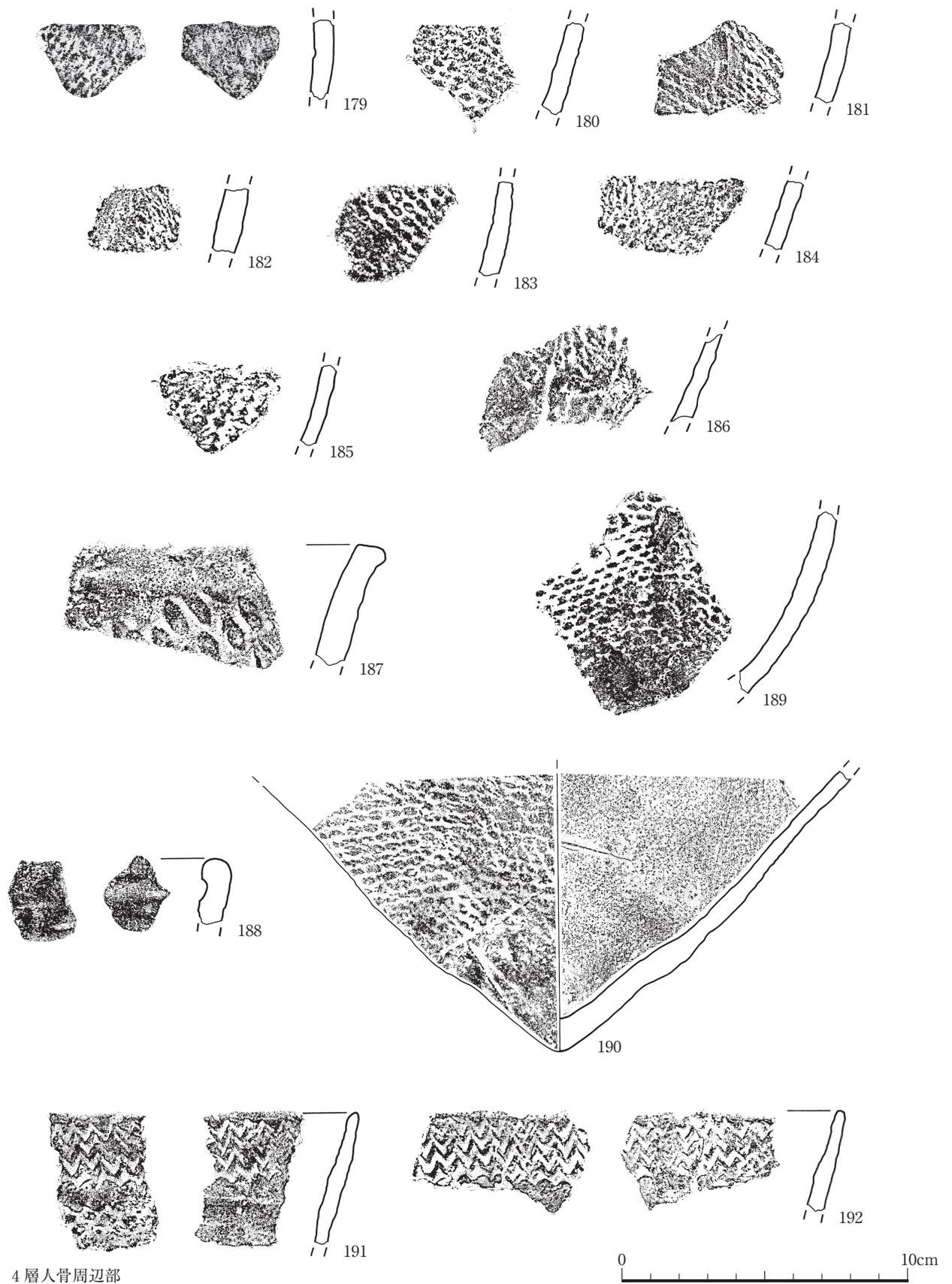
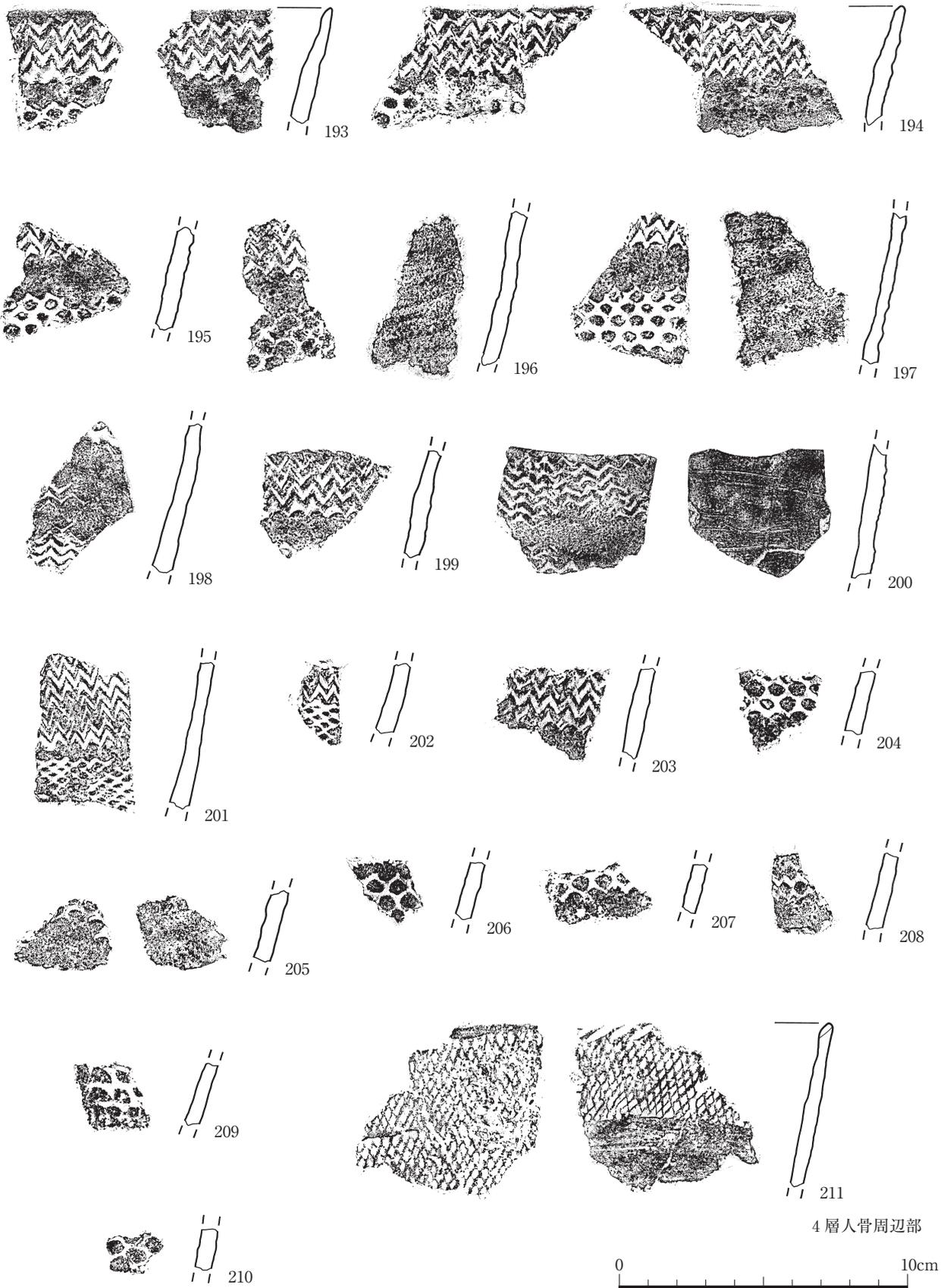


图40 3群土器 13 (S = 1/2)



4層人骨周辺部

图41 3群土器 14 (S = 1/2)



4層人骨周辺部

图 42 3群土器 15 (S = 1/2)

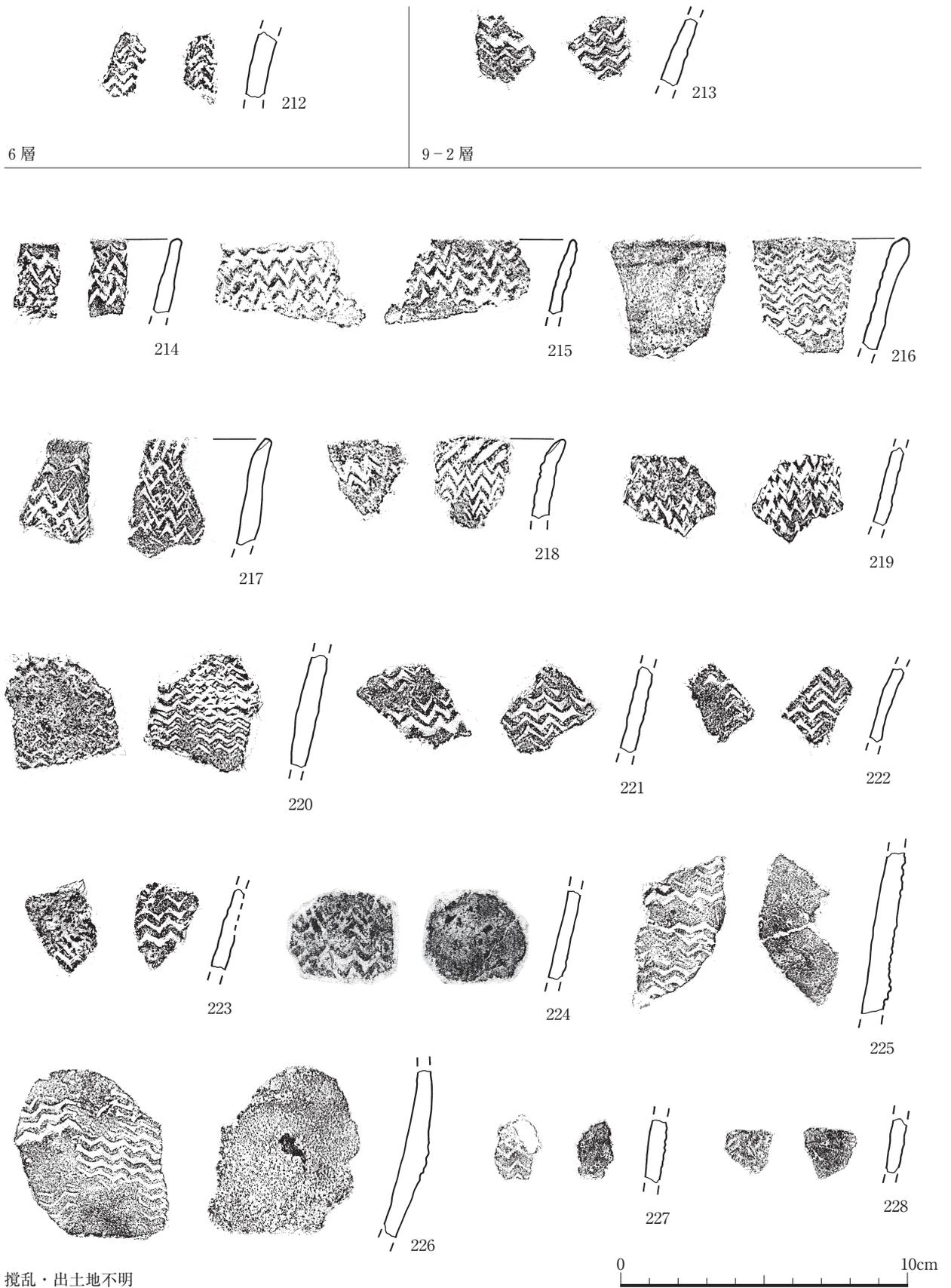


図43 3群土器 16 (S = 1/2)

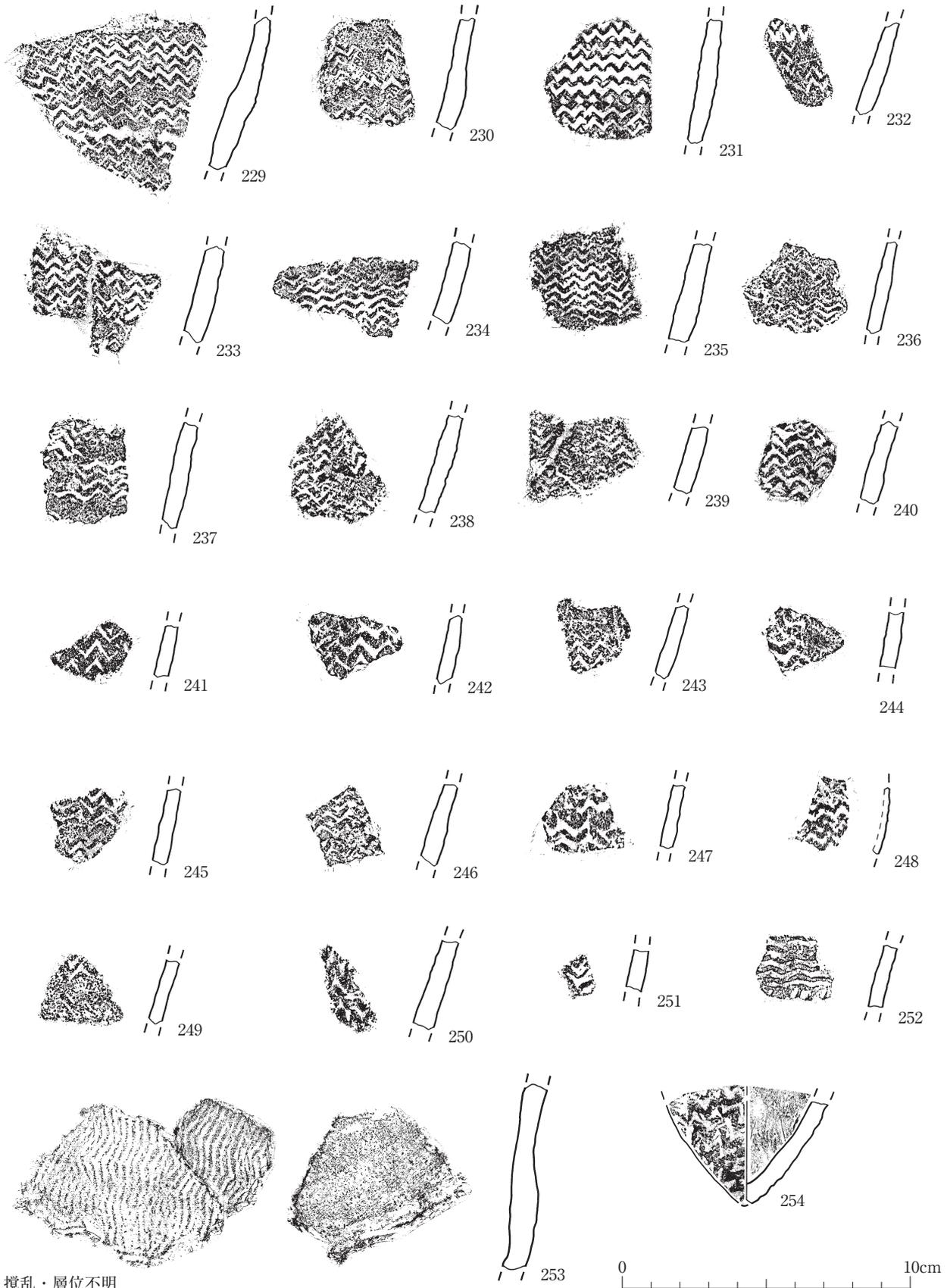


图 44 3群土器 17 (S = 1/2)

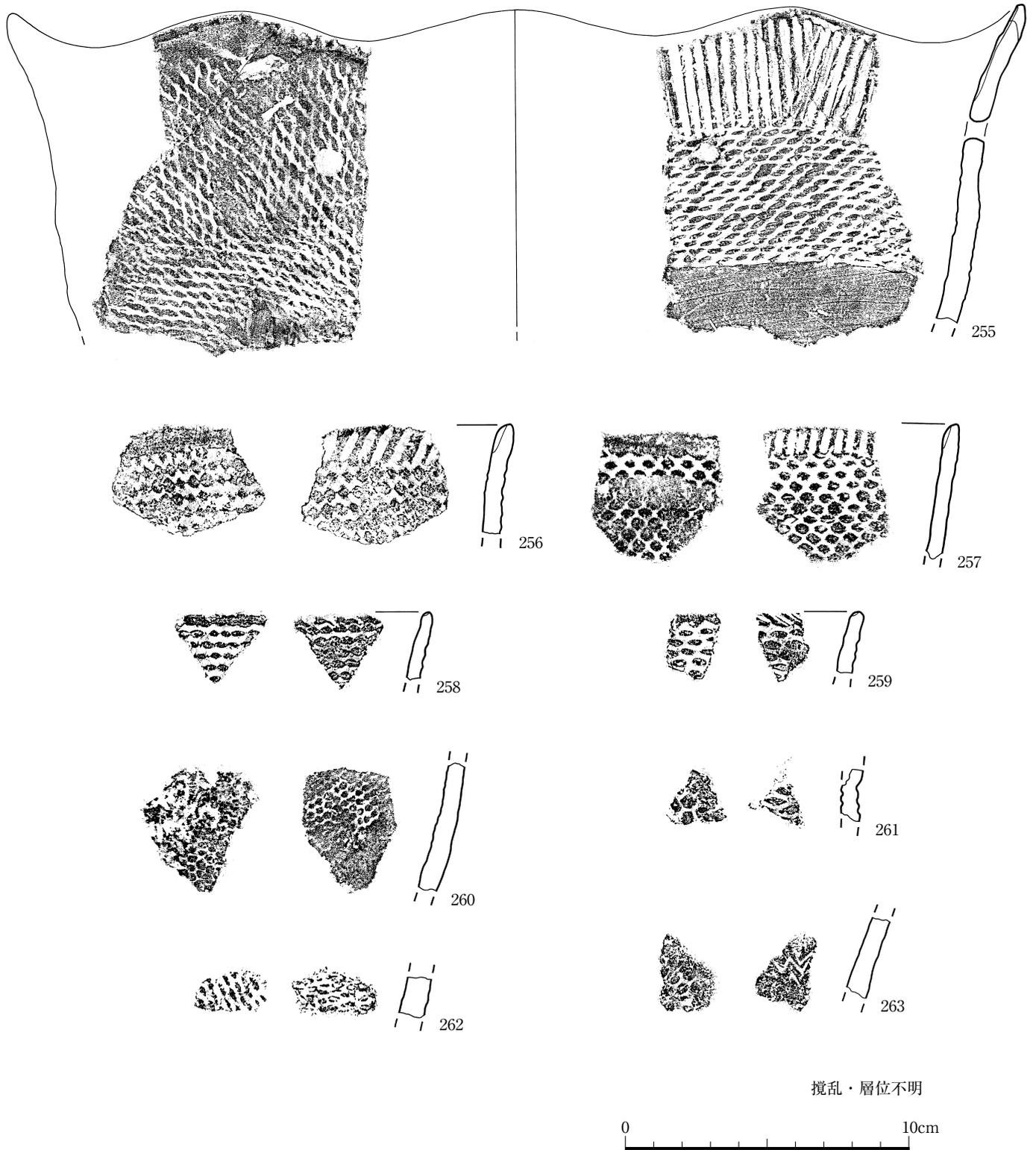


图45 3群土器 18 (S = 1/2)

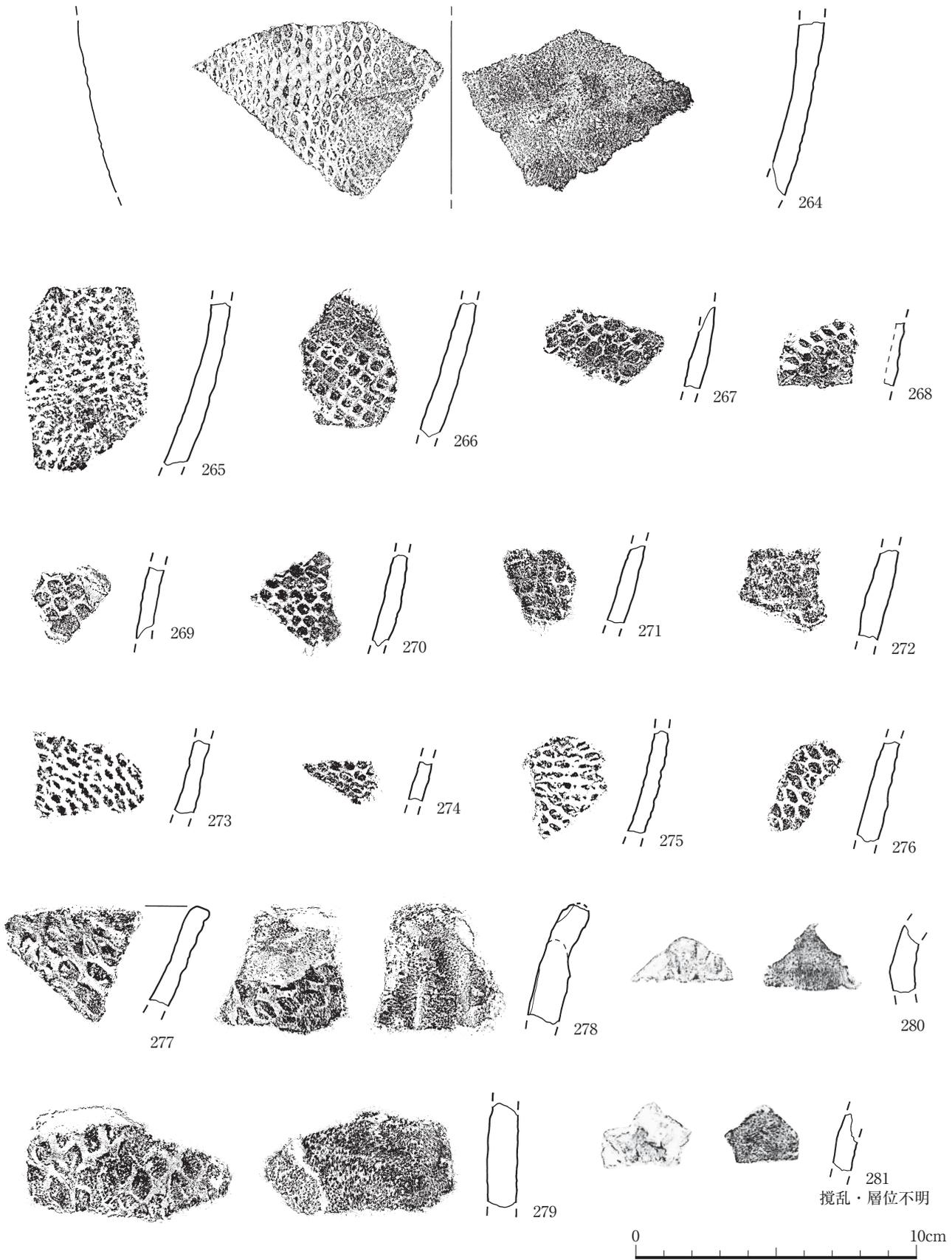


图46 3群土器 19 (S = 1/2)

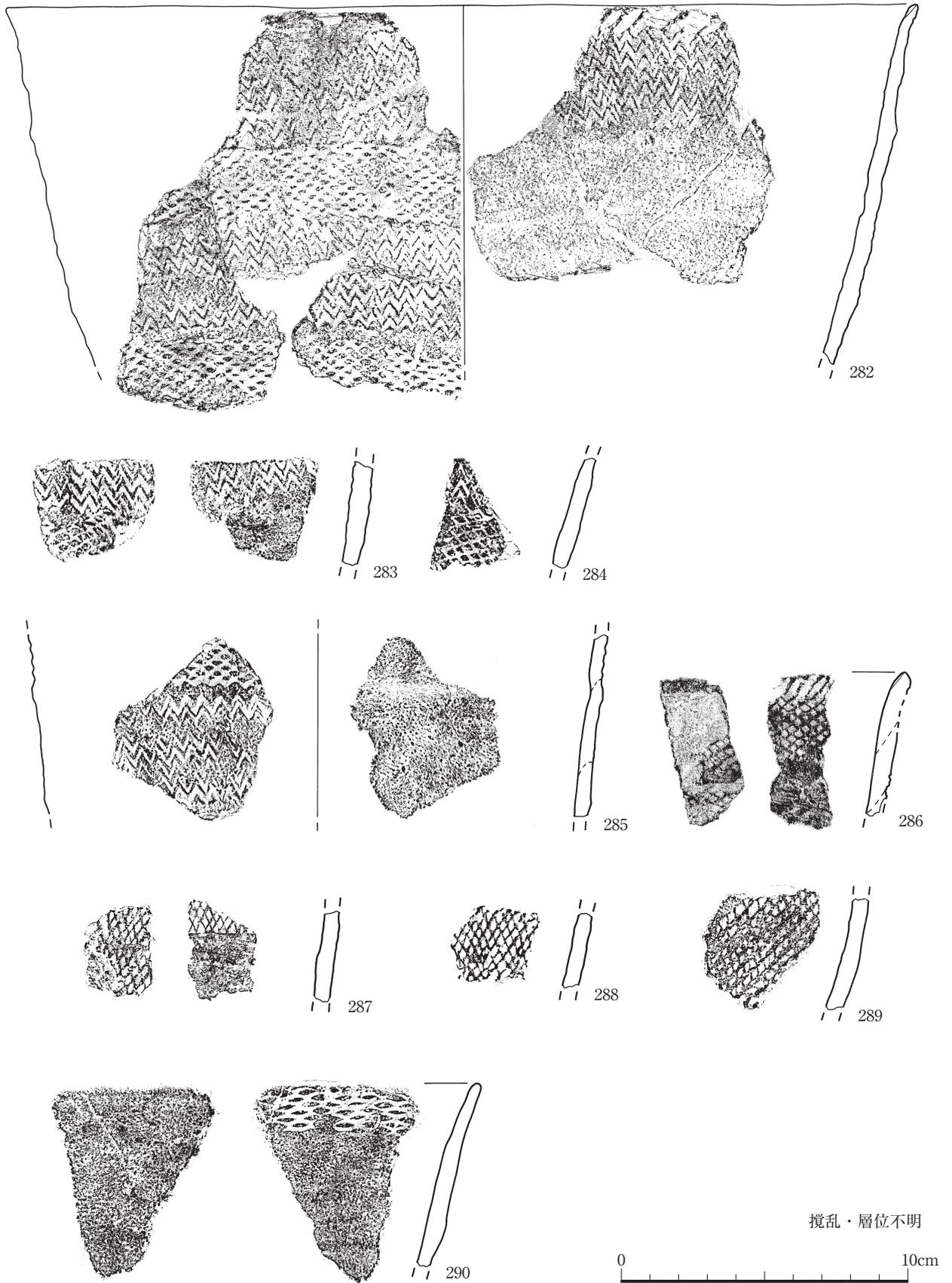


图47 3群土器 20 (S = 1/2)

表10 3群土器観察表

図No	色調	焼成	内容物	部位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備考	所蔵	箱No	整理No
1	灰褐色	良	石英	口縁	外・大型楕円文, 内・斜行沈線	B	2		波状口縁	K	No無	128
2	外・灰黄褐色, 内・黒褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円文+柵状文	A-4	3			K	IV-80	2
3	外・暗褐色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-4	3			K	IV-80	79
4	外・黒褐色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4上			K	IV-63	174
5	外・にぶい黄橙色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4上			K	IV-63	28
6	赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4上			K	IV-63	67
7	にぶい褐色	良	石英	口縁	山形文	A-3	4下			K	IV-77	142
8	にぶい黄褐色	良	石英	口縁	外・山形文, 内・山形文+柵状文	A 拡	4下			K	IV-65	145
9	橙色	良	石英	口縁	山形文	A 拡	4下			K	IV-65	210
10	にぶい黄褐色	良	石英	口縁付近	山形文	A	4下			K	V-22	156
11	にぶい黄橙色	良	石英	口縁付近	山形文	A	4下			K	V-22	155
12	外・黒褐色, 内・灰褐色	良	石英	口縁付近	山形文	A-3	4下			K	IV-77	224
13	外・にぶい褐色, 内・褐灰色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-3	4下		内面スス附着	K	IV-77	160
14	外・明赤褐色, 内・にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	192
15	にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	193
16		良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-2	4下			M	—	171
17	外・にぶい黄褐色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	186
18	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	200
19	明黄褐色	良	石英	口縁付近	楕円文	A	4下			K	V-22	55
20	外・灰褐色, にぶい橙色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	10
21	外・にぶい黄褐色, 内・橙色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IN-77	12
22	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4下			K	IV-65	69
23	黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4下			K	IV-65	137
24	外・にぶい黄褐色, 内・明赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	64
25	外・にぶい褐色, 内・にぶい橙色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	45
26	外・褐灰色, 内・にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4下			K	IV-65	39
27	外・にぶい黄褐色, 内・にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	65
28	外・にぶい黄褐色, 内・明赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	89
29	外・灰黄褐色, 内・明赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	66
30	外・灰黄褐色, 内・にぶい橙色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4下			K	IV-65	136
31	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	91
32	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	96

図No	色調	焼成	内容物	部位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備考	所蔵	箱No	整理No
33	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	63
34	外・にぶい褐色, 内・黒褐色	良	石英	底部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	109
35	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4下			K	V-22	107
36	赤褐色	良	石英	底部	外・楕円文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	113
37	外・明赤褐色, 内・褐灰色	良	石英	口縁	外・格子目文, 内・格子目文+柵状文	A-3	4下			K	IV-77	253
38	外・にぶい橙色, 内・褐灰色	良	石英	胴部	外・格子目文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	259
39	にぶい褐色	良	石英	胴部	外・格子目文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	261
40	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・格子目文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	258
41	にぶい橙色	良	石英	口縁	外・山形文+楕円文, 内・山形文	A-3	4下			K	IV-77	234
42	にぶい橙色	良	石英	口縁付近	外・山形文+楕円文, 内・山形文	A-3	4下			K	IV-77	236
43	外・にぶい黄橙色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・ナデ	A拡	4下			K	IV-65	243
44	外・にぶい黄褐色, 内・にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A拡	4下			K	IV-65	26
45	外・明赤褐色, 内・にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・ナデ	A-3	4下			K	IV-77	237
46	外・にぶい橙色, 内・黒褐色	良	石英	口縁	山形文	A-1	4			K	IV-68	211
47	外・にぶい褐色, 内・明褐色	良	石英	口縁付近	山形文	A拡	4			K	IV-64	147
48	灰褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	213
49	外・にぶい褐色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	162
50	明赤褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A拡	4			K	IV-64	158
51	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A	4			K	III-26	172
52		良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	271
53	外・にぶい褐色, 内・明褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-68	161
54	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	181
55	外・黒褐色, 内・ にぶい赤褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A拡	4			K	IV-64	206
56	橙色	良	金雲母・石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	B	4		内面スス 付着	K	II-12	226
57	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A拡	4			K	IV-64	216
58	にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	267
59	にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-2	4		ミミズ	K	IV-72	228
60	外・褐色, 内・灰 褐色	良	石英	口縁付近	山形文	A-2	4		ミミズ	K	IV-72	229
61	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A拡	4			K	IV-64	182
62	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	179
63	褐灰色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	197
64	褐色	良	石英	底部付近	外・山形文, 内・ナデ	A拡	4			K	IV-64	201
65	外・にぶい褐色, 内・黒褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円文+柵状文	A拡	4			K	IV-64	48

図No	色調	焼成	内容物	部位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備考	所蔵	箱No	整理No
66	外・褐灰色、内・ にぶい橙色	良	石英	口縁付近	外・楕円文、内・楕円 文+柵状文	A	4			K	Ⅲ-26	52
67	外・褐灰色、内・ にぶい橙色	良	石英	口縁	外・楕円文、内・柵状 文	A	4			K	Ⅲ-26	118
68	外・褐灰色、内・ にぶい橙色	良	石英	口縁	外・楕円文、内・柵状 文	A	4			K	Ⅲ-26	117
69	外・灰黄褐色、 内・にぶい黄褐色	良	石英	口縁	外・楕円文、内・楕円 文+柵状文	B	4	82		M	—	50
70	外・橙色、内・灰 褐色	良	金雲母・石 英	口縁	外・楕円文、内・楕円 文+柵状文	B	4			K	Ⅱ-12	43
71	灰黄褐色	良	石英・砂粒 多く含む	口縁付近	外・楕円文、内・楕円 文+擦痕	A	4			K	Ⅲ-26	59
72	にぶい黄褐色	良	石英	口縁付近	楕円文	A-4	4			K	Ⅳ-81	56
73	外・灰褐色、にぶ い橙色	良	石英	口縁付近	楕円文	A-1	4			K	Ⅳ-68	4
74	褐灰色	良	石英	口縁付近	楕円文	A	4			K	Ⅳ-56	129
75	明赤褐色	良	長石	口縁付近	楕円文	A	4			K	Ⅲ-26	53
76	黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A拡	4			K	Ⅳ-64	133
77	外・にぶい黄褐色、 内・灰褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	71
78	外・灰褐色、内・ 褐灰色	良	長石	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	74
79	外・橙色、内・褐 灰色	良	石英	胴部	外・大型楕円文、内・ ナデ	A	4			K	Ⅳ-56	140
80	明赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A-2	4			K	Ⅳ-72	122
81	外・にぶい赤褐色、 内・灰色	良	砂礫・石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	125
82	外・にぶい黄褐色、 内・橙色	良	石英・雲母	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A-2	4			K	Ⅳ-72	269
83	外・灰黄褐色、 内・にぶい黄褐色	良	砂礫、繊維 微量	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	124
84	灰褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A-1	4			K	Ⅳ-68	132
85	外・橙色、内・に ぶい褐色	良	石英	底部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	108
86	黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A-2	4			K	Ⅳ-72	84
87	外・灰黄色、内・ 黄灰色	良	石英多く含 む	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	92
88	外・灰褐色、内・ 明赤褐色	やや 良	砂礫・石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	68
89	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	102
90	外・にぶい黄褐色、 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A-3	4			K	Ⅲ-25	99
91	外・褐灰色、内・ 黒褐色	良	長石	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	135
92	黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A-2	4			K	Ⅳ-72	85
93	にぶい橙色	良	白砂・石英 多く含む	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	100
94	外・にぶい褐色、 内・褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A拡	4			K	Ⅳ-64	8
95	黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A	4			K	Ⅲ-26	60
96	外・黒褐色、内・ 灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文、内・ナデ	A-2	4			K	Ⅳ-72	83

図No	色調	焼成	内容物	部位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備考	所蔵	箱No	整理No
97	外・にぶい黄褐色, 内・にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	38
98	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	94
99	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-4	4			K	IV-81	270
100	灰褐色	良	金雲母・石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ +条痕	A	4			K	III-26	98
101	外・褐色, 内・明 赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	103
102	外・暗褐色, 内・ 黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	87
103	外・黒褐色, 内・ 褐灰色	良	石英・雲母	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	44
104	灰褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4			K	IV-64	105
105	外・にぶい褐色, 内・明褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A	4			K	IV-64	78
106	外・にぶい黄褐色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-3	4			K	III-25	76
107	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4			K	IV-64	130
108	外・黒褐色, 内・ 灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A-2	4			K	IV-72	88
109	外・にぶい黄褐色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4			K	IV-64	81
110	外・橙色, 内・明 褐色	良	石英	底部	外・楕円文, 内・ナデ	A 拡	4			K	IV-64	111
111	外・にぶい褐色, 内・黒褐色	良	石英	口縁	外・山形文+楕円文, 内・山形文	A-1	4			K	IV-68	230
112	外・にぶい褐色, 内・灰褐色	良	石英	口縁	外・山形文+?文, 内・山形文	A 拡	4			K	IV-64	208
113	外・にぶい黄褐色, 内・灰褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	239
114	外・にぶい褐色, 内・灰褐色	良	石英	口縁付近	外・山形文+楕円文, 内・山形文	A-1	4			K	IV-68	235
115	外・明赤褐色, 内・にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	241
116	明赤褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	247
117	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文+ナデ, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	25
118	外・にぶい褐色, 内・灰褐色	良	石英	胴部	外・楕円文+ナデ, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	27
119	外・黒褐色, 内・ にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文+ナデ, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	16
120	外・にぶい赤褐色, 内・にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文+ナデ, 内・ナデ	A-1	4			K	IV-68	33
121	灰黄褐色	良	石英	口縁	外・格子目文, 内・格 子目文+柵状文	A-2	4			K	IV-72	254
122	灰褐色	良	石英	口縁	外・格子目文, 内・格 子目文+柵状文	A 拡	4			K	IV-64	255
123	外・にぶい黄褐色, 内・灰褐色	良	石英	胴部	外・格子目文, 内・ナ デ	A-2	4			K	IV-72	268
124	外・にぶい褐色, 内・褐灰色	良	石英	胴部	外・格子目文, 内・ナ デ	A 拡	4			K	IV-64	262

図No	色 調	焼成	内容物	部 位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備 考	所蔵	箱No	整理No
125	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・綾杉文+ナデ, 内・ナデ	B	4			K	II-12	263
126	にぶい褐色	良	石英	胴部	外・綾杉文, 外・ナデ	B	4			K	II-12	264
127	外・にぶい褐色, 内・黒褐色	良	石英	口縁	山形文+ナデ	A	4-人			K	III-1	141
128	にぶい褐色	良	石英	口縁	外・山形文+ナデ, 内・山形文+柵状文	A-4	4-人			K	III-27	143
129	外・明赤褐色, 内・にぶい赤褐色	良	石英	口縁	外・山形文, 内・山形 文+柵状文	A 拡	4-人			K	IV-67	144
130	にぶい黄橙色	良	石英	口縁	外・山形文, 内・山形 文+柵状文	A 拡	4-人			K	IV-67	223
131	外・灰黄褐色, 内・にぶい黄橙色	良	石英	口縁	外・山形文, 内・山形 文+柵状文	A 拡	4-人	72		K	IV-67	222
132	外・褐色, 内・に ぶい赤褐色	良	石英	口縁付近	外・山形文, 内・山形 文+ナデ	A 拡	4-人	73		K	IV-67	148
133	外・にぶい橙色, 内・黒色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-67	219
134	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A	4-人			K	III-20	196
135	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-66	187
136	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A	4-人			K	III-1	157
137	外・橙色, 内・に ぶい橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-67	188
138	外・にぶい橙色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-4	4-人			K	III-27	159
139	灰褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-67	191
140	橙色	やや 良	石英・金雲 母	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A	4-人			K	III-20	291
141	外・にぶい橙色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-4	4-人			K	III-27	163
142	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-67	202
143	外・にぶい黄橙色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A	4-人			K	III-1	180
144	外・灰褐色, 内・ 褐灰色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-67	220
145	外・にぶい黄褐色, 内・褐灰色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-66	218
146	褐灰色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-66	221
147	外・灰褐色, 内・ 褐灰色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-67	214
148	外・にぶい黄橙色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A 拡	4-人			K	IV-67	167
149	にぶい橙色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円 文+柵状文	A	4-人			K	III-1	49
150	外・黒褐色, 内・ 灰褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円 文+柵状文	A 拡	4-人			K	IV-67	3
151	外・灰褐色, 内・ にぶい橙色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円 文+柵状文	A-4	4-人			K	III-27	115
152	橙色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・柵状 文	A	4-人			K	III-1	116
153	灰褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・柵状 文	A 拡	4-人			K	IV-66	119
154	外・明赤褐色, 内・橙色	良	石英	口縁付近	外・楕円文, 内・楕円 文+ナデ	A	4-人			K	III-1	120

図No	色 調	焼成	内容物	部 位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備 考	所蔵	箱No	整理No
155	外・灰黄褐色， 内・にぶい黄橙色	良	石英	口縁付近	外・楕円文，内・楕円 文+条痕+ナデ	A-4	4-人			K	Ⅲ-27	58
156	外・灰褐色，内・ にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・楕円 文（無回転）	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	7
157	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人	77		K	Ⅳ-67	9
158	外・灰褐色，内・ にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	11
159	にぶい橙色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	22
160	外・暗褐色，内・ 黒褐色	良	石英	口縁付近	外・楕円文，内・楕円 文+ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-1	51
161	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	61
162	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	62
163	外・明赤褐色， 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A	4-人			K	Ⅱ-12	47
164	外・橙色，内・暗 灰黄色	良	金雲母・石 英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-20	46
165	にぶい橙色	良	金雲母・石 英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-20	126
166	外・灰黄褐色， 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	131
167	外・にぶい褐色， 内・にぶい橙色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-1	17
168	外・にぶい赤褐色， 内・にぶい橙色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	19
169	黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	134
170	外・にぶい黄橙色， 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A-4	4-人			K	Ⅲ-27	127
171	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	77
172	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	72
173	外・にぶい褐色， 内・橙色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A-4	4-人			K	Ⅲ-27	121
174	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	123
175	灰褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	40
176	外・黒褐色，内・ 灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A-4	4-人			K	Ⅲ-27	13
177	外・にぶい赤褐色， 内・灰褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	20
178	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	75
179	外・明褐色，内・ 明赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-1	93
180	外・にぶい黄橙色， 内・赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	82
181	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	101
182	外・黒褐色，内・ にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A-4	4-人			K	Ⅲ-27	106
183	外・暗赤褐色， 内・にぶい赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	80
184	外・にぶい褐色， 内・明赤褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A-4	4-人			K	Ⅲ-27	104
185	外・にぶい黄橙色， 内・にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A-4	4-人			K	Ⅲ-27	23

図No	色調	焼成	内容物	部位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備考	所蔵	箱No	整理No
186	外・暗赤褐色， 内・にぶい赤褐色	良	石英	底部	外・楕円文，内・ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-1	110
187	外・にぶい橙色， 内・黒褐色	良	石英	口縁	外・大型楕円文，内・ ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-20	138
188	黒褐色	良	石英	口縁	外・大型楕円文，内・ 沈線	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	272
189	にぶい黄褐色	良	石英	底部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	112
190	外・にぶい褐色， 内・黒褐色	良	石英	底部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	114
191	外・にぶい黄褐色， 内・にぶい黄橙色	良	石英	口縁	外・山形文+楕円文， 内・山形文	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	231
192	外・にぶい褐色， 内・黒褐色	良	石英	口縁	山形文	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	207
193	にぶい橙色	良	石英	口縁	外・山形文+楕円文， 内・山形文	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	233
194	にぶい橙色	良	石英	口縁	外・山形文+楕円文， 内・山形文	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	232
195	外・にぶい赤褐色， 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	238
196	外・にぶい赤褐色， 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	242
197	褐灰色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	240
198	外・にぶい褐色， 内・にぶい橙色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	245
199	にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	246
200	外・にぶい褐色， 内・褐灰色	良	長石・石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A	4-人			K	Ⅲ-20	244
201	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	249
202	外・褐色，内・灰 褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文， 内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	251
203	にぶい橙色	良	石英	胴部	外・山形文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	215
204	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	29
205	外・にぶい赤褐色， 内・褐灰色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	31
206	外・黒褐色，内・ 褐灰色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	30
207	外・にぶい橙色， 内・橙色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	32
208	外・灰褐色，内・ にぶい褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	34
209	黒褐色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	35
210	外・にぶい赤褐色， 内・褐灰色	良	石英	胴部	外・楕円文，内・ナデ	A 拡	4-人			K	Ⅳ-66	37
211	外・にぶい褐色， 内・褐灰色	良	石英	口縁	外・格子目文，内・格 子目+柵状文	A 拡	4-人			K	Ⅳ-67	252
212	灰黄褐色	良	石英	口縁付近	山形文	C	6			K	Ⅲ-33	151
213	外・にぶい黄橙色， 内・にぶい黄褐色	良	石英	口縁付近	山形文	B	9-2			K	Ⅳ-96	150
214	外・にぶい褐色， 内・黒褐色	良	石英	口縁	山形文	B	攪・不			K	Ⅳ-87	209

図No	色調	焼成	内容物	部位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備考	所蔵	箱No	整理No
215	黄褐色	良	石英・雲母	口縁	山形文	—	撓・不			T	—	274
216	黒褐色	良	雲母	口縁	外・ナデ, 内・山形文	—	撓・不			T	—	275
217	外・にぶい黄橙色, 内・黒褐色	良	石英	口縁	外・山形文, 内・山形文+柵状文	—	撓・不			K	No無	146
218	灰黄褐色	良	石英	口縁	外・山形文, 内・山形文+柵状文	—	撓・不			E	—	282
219	外・灰黄褐色, 内・にぶい黄橙色	良	石英	口縁付近	山形文	—	撓・不			K	No無	212
220	外・にぶい褐色, 内・灰褐色	良	石英	口縁付近	山形文	—	撓・不			K	No無	152
221	外・にぶい黄褐色, 内・にぶい橙色	良	石英	口縁付近	山形文	—	撓・不			K	No無	154
222	にぶい黄橙色	良	石英	口縁付近	山形文	—	撓・不			K	No無	149
223	にぶい黄褐色	良	石英	口縁付近	山形文	—	撓・不			K	No無	153
224	外・橙色, 内・にぶい黄橙色	良	長石・石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	C 拡	撓・不			K	Ⅲ-21	169
225	にぶい灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	276
226	黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	278
227	黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	281
228	外・にぶい黄橙色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	283
229	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	B	撓・不			K	Ⅳ-87	189
230	外・にぶい黄橙色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	164
231	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			M	—	225
232	外・にぶい黄褐色, 内・にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	195
233	外・にぶい黄橙色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	190
234	外・にぶい黄橙色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	203
235	灰黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			M	—	205
236	外・灰褐色, 内・にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	204
237	外・灰褐色, 内・明赤褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	165
238	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	173
239	外・明褐色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	166
240	黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	178
241	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	184
242	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	183
243	外・明褐色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	185
244	灰褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	194
245	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	168
246	にぶい褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	A-3	撓・不			K	Ⅳ-76	170
247	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	175
248	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	Ⅳ-1	176
249	外・褐色, 内・にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	177

第3部 出土遺物
第1章 土器

図No	色調	焼成	内容物	部位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備考	所蔵	箱No	整理No
250	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	217
251	外・にぶい黄橙色, 内・にぶい橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	198
252	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	B	撓・不		ミミズ	K	IV-87	227
253	赤褐色	良	白色粒・石英	胴部	外・山形文(縦位), 内・ナデ	—	撓・不		穂谷式	M	—	273
254	外・灰黄褐色, 内・にぶい黄橙色	良	石英	底部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	286
255	灰褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円文+柵状文		撓・不			M	—	292
256	にぶい黄褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円文+柵状文	—	撓・不			E	—	280
257	にぶい黄褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円文+柵状文	—	撓・不			M	—	1
258	灰黄褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円文+刻み	—	撓・不			K	No無	41
259	灰黄褐色	良	石英	口縁	外・楕円文, 内・楕円文+刻み	—	撓・不			K	No無	42
260	外・黒褐色, 内・ にぶい赤褐色	良	石英	口縁付近	楕円文	—	撓・不			M	—	6
261	橙色	良	石英	口縁付近	楕円文	—	撓・不			K	No無	54
262	灰黄褐色	良	石英	口縁付近	楕円文	—	撓・不			K	IN-1	57
263	灰黄褐色	良	石英	口縁付近	外・楕円文, 内・山形文	—	撓・不			K	No無	5
264	灰褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	284
265	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	IV-1	70
266	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	15
267	外・にぶい黄褐色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	14
268	明赤褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	95
269	外・にぶい黄橙色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	B	撓・不			K	IV-87	36
270	灰褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			M	—	21
271	外・橙色, 内・ にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	18
272	外・にぶい黄褐色, 内・灰黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	24
273	外・にぶい褐色, 内・明褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	III-2	73
274	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	97
275	黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	—	撓・不			K	IV-2	90
276	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文, 内・ナデ	B	撓・不			K	IV-87	86
277	にぶい黄褐色	良	石英	口縁	外・大型楕円文, 内・ナデ	—	撓・不			K	IV-1	139
278	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・大型楕円文, 内・沈線	—	撓・不			E	—	287
279	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・大型楕円文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	288
280	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・大型楕円文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	289
281	灰黄褐色	良	石英	胴部	外・大型楕円文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	290

図No	色 調	焼成	内容物	部 位	成形・調整・文様	区	層位	写真No	備 考	所蔵	箱No	整理No
282	外・にぶい黄褐色, 内・黒褐色	良	石英	口縁	外・山形文+楕円文, 内・山形文+柵状文	—	撓・不	81		M	—	248
283	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・山形文	—	撓・不			E	—	279
284	外・にぶい黄褐色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・ナデ	—	撓・不			K	No無	250
285	にぶい黄褐色	良	石英	胴部	外・山形文+楕円文, 内・ナデ	—	撓・不			E	—	285
286	外・にぶい黄褐色, 内・灰黄褐色	良	金雲母・長 石	口縁	外・格子目文, 内・格 子目文+柵状文	C 拡	撓・不			K	Ⅲ-21	266
287	外・灰黄褐色, 内・にぶい黄橙色	良	石英	口縁付近	格子目文	A-3	撓・不			K	Ⅳ-76	256
288	外・にぶい橙色, 内・黒褐色	良	石英	胴部	外・格子目文, 内・ナ デ	—	撓・不			K	Ⅳ-1	260
289	にぶい黄橙色	良	石英	胴部	外・格子目文, 内・ナ デ	—	撓・不			K	No無	257
290	黒褐色	良	石英	口縁	外・ナデ, 内・楕円文 +ナデ	—	撓・不			K	No無	265

層位：4-人は4層人骨周辺，撓・不は撓乱・不明